

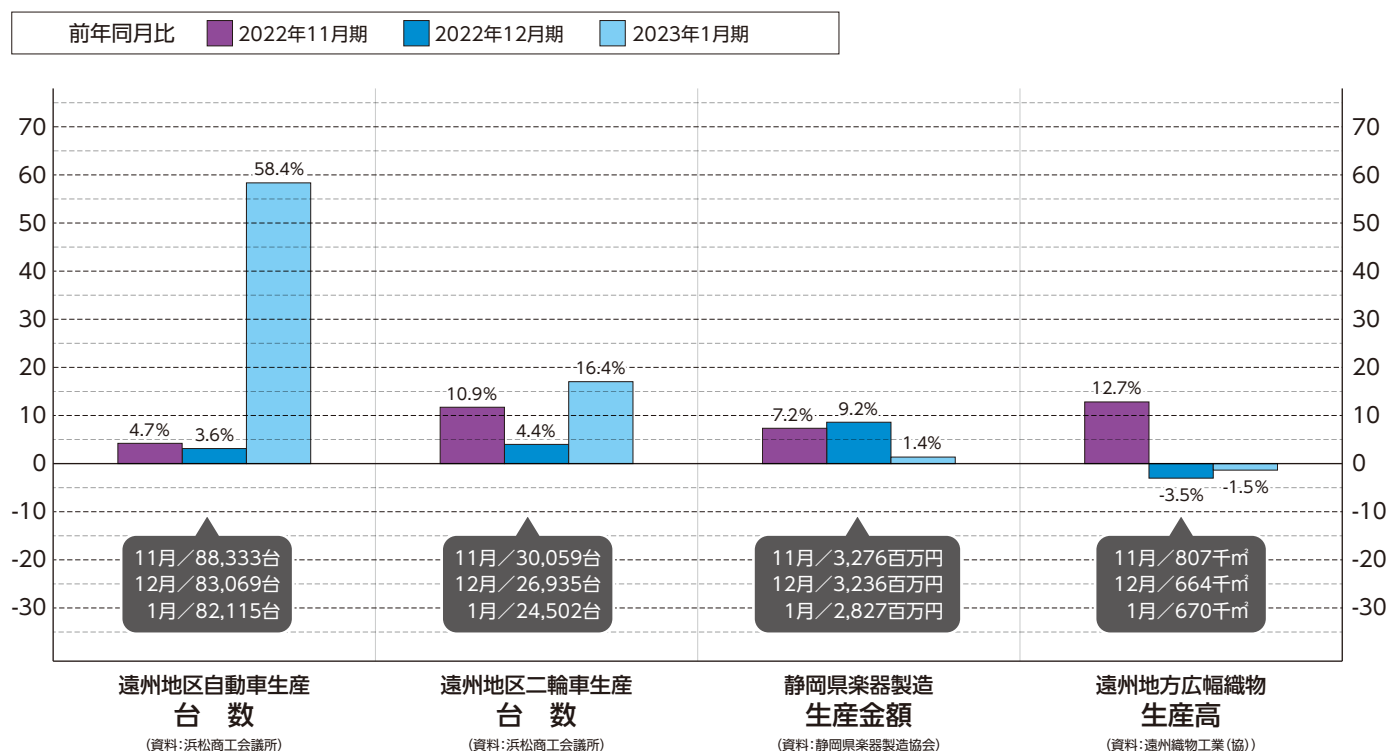
データで見る経済の動き

## 浜松地域の経済動向

2023年  
1月を中心に生産活動は緩やかに回復しつつあり、  
全体の基調としては持ち直している。

製造業では、自動車、二輪車はともに前年同月を上回り堅調に推移した。運輸・観光業では、タクシー乗車人員は1月にコロナ規制がなかったことも有り前年同月を大幅に上回った。ホテル稼働率も前年同率を上回ったが、稼働率は4カ月ぶりに50%を下回った。1月は回復傾向であった有効求人倍率に陰りが見え始めた。レギュラーガソリン価格は6カ月連続で160円台で推移している。為替相場では3カ月連続で前月より円高となったが、依然として前年同月より大幅な円安となっている。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年1月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比58.4%増の8.2万台となり、9カ月連続で前年同月を上回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は53.7%増、小型四輪車は76.5%増、普通自動車は6.0%増となった。国内向けは71.7%増、輸出は22.7%増となり、国内生産は前年の部品不足に伴う工場操業停止の反動増で大幅に伸びた。輸出は欧州向けなどが好調で4カ月ぶりに前年同月を上回った。

## 二輪車



2023年1月における二輪車生産台数は前年同月比16.4%増の2.4万台となった。国内向けは5.2%増、輸出は17.5%増であった。排気量別では、50cc以下4.2%増、51cc～125cc以下0.7%増、126cc～250cc以下2.7%増、251cc以上21.7%増であった。二輪車の生産は2022年の好調を維持し、需要は引き続き活発に推移。月平均2.5万台程度(年間30万台)で推移すると見込まれる。

## 楽器



2023年1月における生産金額は前年同月比1.4%増の28.2億円となった。生産金額は7カ月連続で前年同月を上回るも、1月は工場の稼働日数が少ないことから前月比4億円の減少となる。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ4.1%減、電子・電気ピアノ78.3%減、電子オルガン48.5%増、管楽器1.2%増となっている。

## 繊維



2023年1月の生産高は前年同月比1.5%減の670千㎡となり、2カ月連続で前年同月を下回った。2023年春夏向けの生地生産が終了し、秋冬向けの生産に転換していく時期ではあるが、現状では受注が活発化している様子は見られない。また、物価高を背景とした消費の低迷も予想され、アパレル向けの生地を主力にする遠州産地は厳しい状況が続くと思われる。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年1月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比14.7%増の27万人となった。1月はコロナの規制がなく、帰省客などの利用もあり、駅でのタクシーの待機時間は少なくなっている。しかし、ホテルからのお客様は、大型新年会、賀詞交歓会、年始に多い同窓会がまだ増えてこないため、低迷している。

### 観光

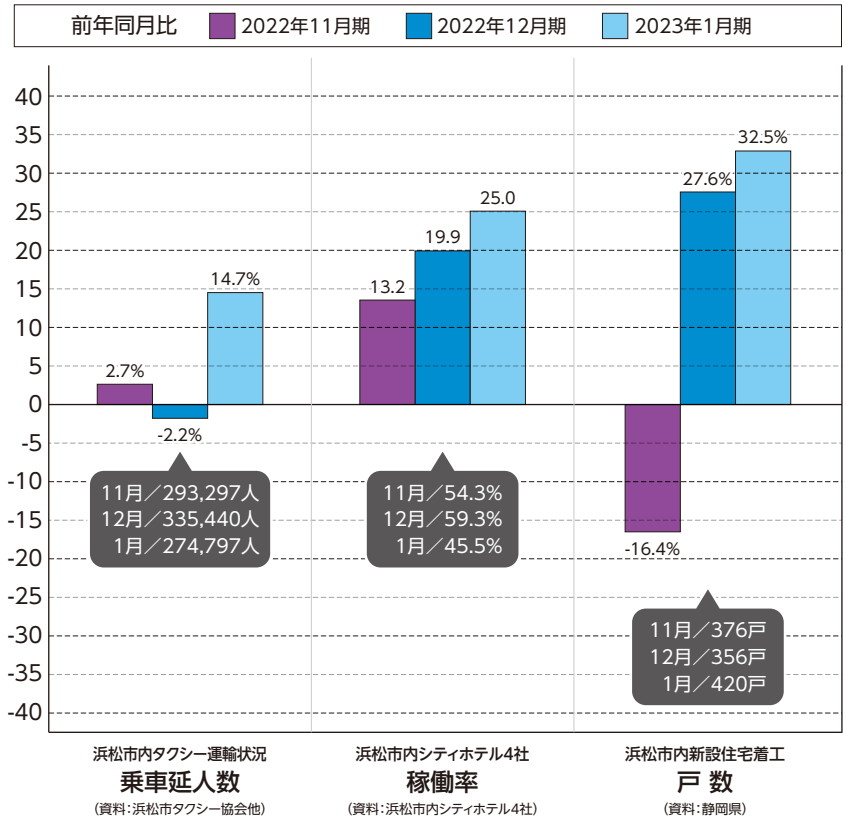


2023年1月の浜松市内ホテルの稼働率は45.5%で、前年同月比25.0ポイントの改善であったが、4カ月ぶりで稼働率が50%を下回った。1月の前半は感染拡大があったため、キャンセルがあり伸び悩む結果となった。1月の後半になり少しずつではあるが観光客・ビジネス客ともに上昇した。今後は、大河ドラマ関連の集客に期待している。

### 住宅着工



2023年1月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比103戸(32.5%)増の420戸となった。内訳をみると、持家は185戸、貸家103戸、分譲住宅は131戸であった。また、2022年の年間着工件数では4,883戸となり前年比0.5%の増加であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年1月の有効求人倍率は1.31倍となった。前年同月との比較では0.10ポイント上回った。前月との比較では0.01ポイント下回った。全国(1.35)との比較では0.04ポイント下回ったが、静岡県(1.29)との比較では0.02ポイント上回った。前月まで2カ月連続で前月を上回るなど雇用情勢の回復傾向であったが、1月は3カ月ぶりの悪化となった。

### 倒産企業



2023年1月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は1.0億円となった。倒産件数は前年同月より3件増加した。静岡県全体の倒産件数は16件で、前年同月より6件増加した。新型コロナウイルス関連融資の返済開始や原材料、燃料費上昇の影響による倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

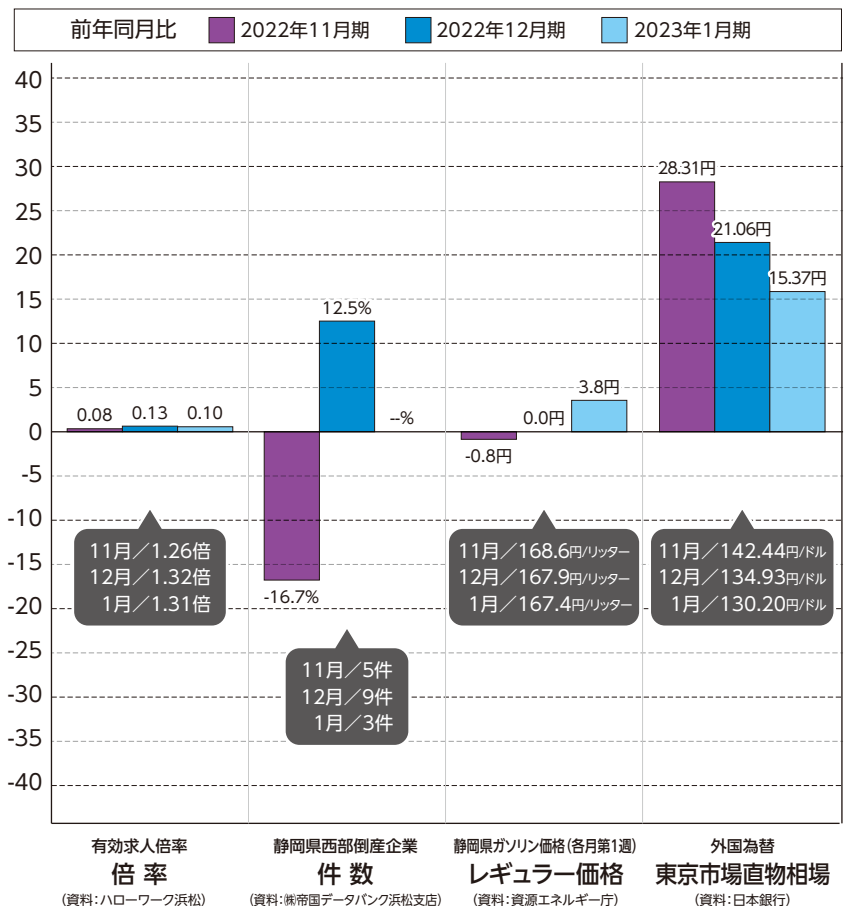


2023年1月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり167.4円となった。前年同月より3.8円上昇した。前月との比較では0.5円低下した。ガソリン価格には大きな変化はなく、6カ月連続で160円となっている。

### 外国為替



2023年1月の外国為替は1ドル130.20円、前年同月と比較すると15.37円の円安となった。前月との比較では4.73円の円高となった。前月対比では3カ月連続で前月より円高となっている。



データで見る経済の動き

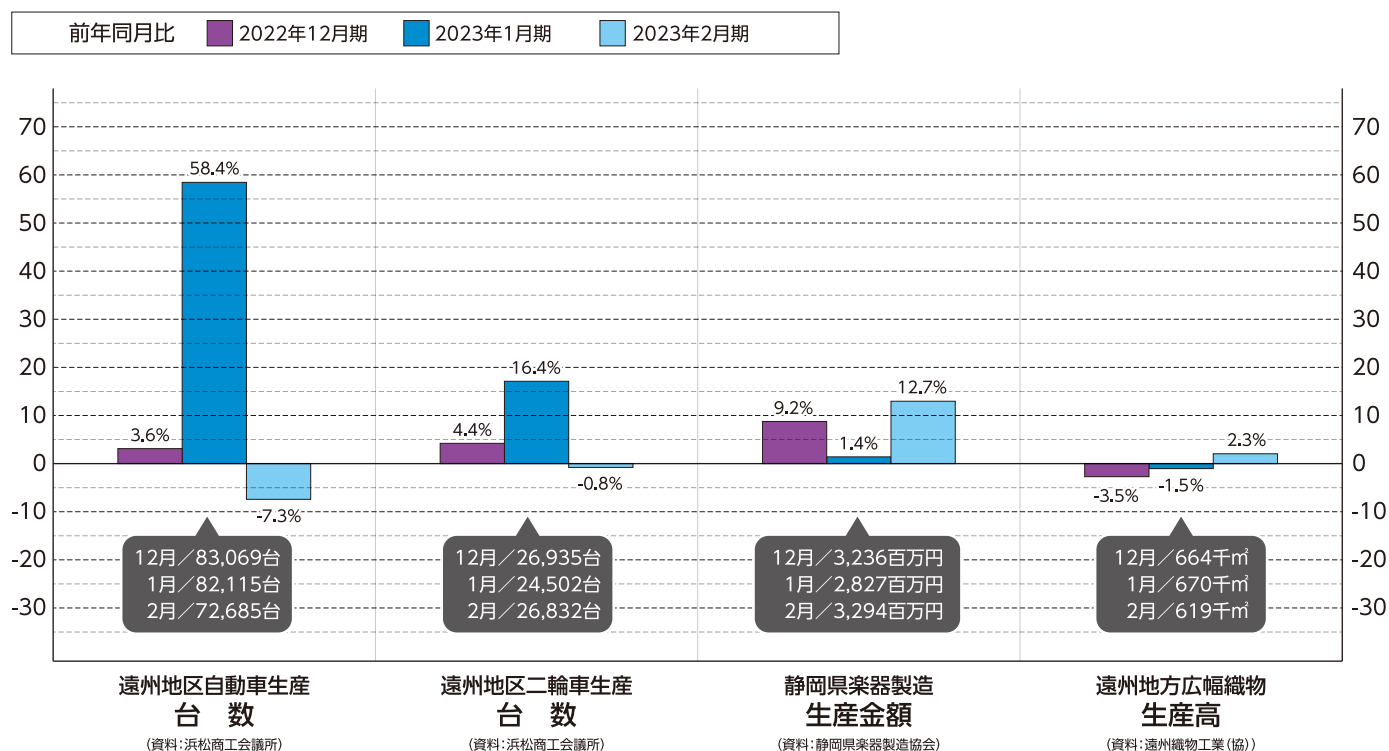
## 浜松地域の経済動向

2023年  
2月を中心に

エネルギー価格および原材料価格の上昇が続いているが、幅広い業種で価格転嫁が十分には進んでおらず利益を圧迫している。

製造業では、部品供給不足による生産制約の影響もあり、自動車、二輪車とも生産台数は前年同月を下回った。楽器生産金額は堅調に推移した。運輸・観光業は、コロナ禍が落ち着き、全国旅行支援や大河ドラマ館プレオープンもあり、ホテル稼働率は50%を回復した。有効求人倍率は前年同月、前月を上回った。エネルギー価格および原材料価格の上昇が続いているが、価格転嫁が十分には進んでおらず、幅広い業種で採算が悪化し利益が上げにくい状態となっている。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年2月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比7.3%減の7.2万台となり、10カ月ぶりに前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は12.2%減、小型四輪車は10.0%増、普通自動車は34.6%減となった。国内向けは9.7%減、輸出は0.8%増となり、国内向けの生産が減少している。半導体を含む部品供給不足による生産制約が影響したものと思われる。

## 二輪車



2023年2月における二輪車生産台数は前年同月比0.8%減の2.6万台となった。国内向けは1.9%減、輸出は0.7%減といずれも減少となった。排気量別では、50cc以下24.9%減、51cc～125cc以下6.8%減、126cc～250cc以下39.7%増、251cc以上0.6%減となった。二輪車の生産は2022年からの好調を維持し、月平均2.5万台程度(年間30万台)で推移している。

## 楽器



2023年2月における生産金額は前年同月比12.7%増の32.9億円となった。生産金額は8カ月連続で前年同月を上回り、特に2月は増産となった。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ7.1%増、電子・電気ピアノ64.4%減、電子オルガン32.3%増、管楽器19.6%増となっている。

## 繊維



2023年2月の生産高は前年同月比2.3%増の619千㎡となり、3カ月ぶりで前年同月を上回った。原材料の糸値については、ピーク時より下がっているが、依然高止まりをしているため、収益を圧迫している。生地生産においては各段階のコスト上昇、電気代の高騰分の価格転嫁を進めることが必要である。物価高を背景に、生活必需品の値上がりによる、衣料品の購入を控えるなどの消費者心理の冷え込みを懸念している。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年2月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比58.5%増の27万人となった。これは、前年2月がまん延防止等重点措置が発令されて17万人と低かったためと考えられる。1月から再開された全国旅行支援や大河ドラマ館のプレオープンにより、人の流れは増えてきているものの、まだ乗車に結びつくケースは少ない。2月は稼働日数も少なかったが、3月はマスクの着用も緩和され、会社単位での送別会などが増加することを期待している。

### 観光

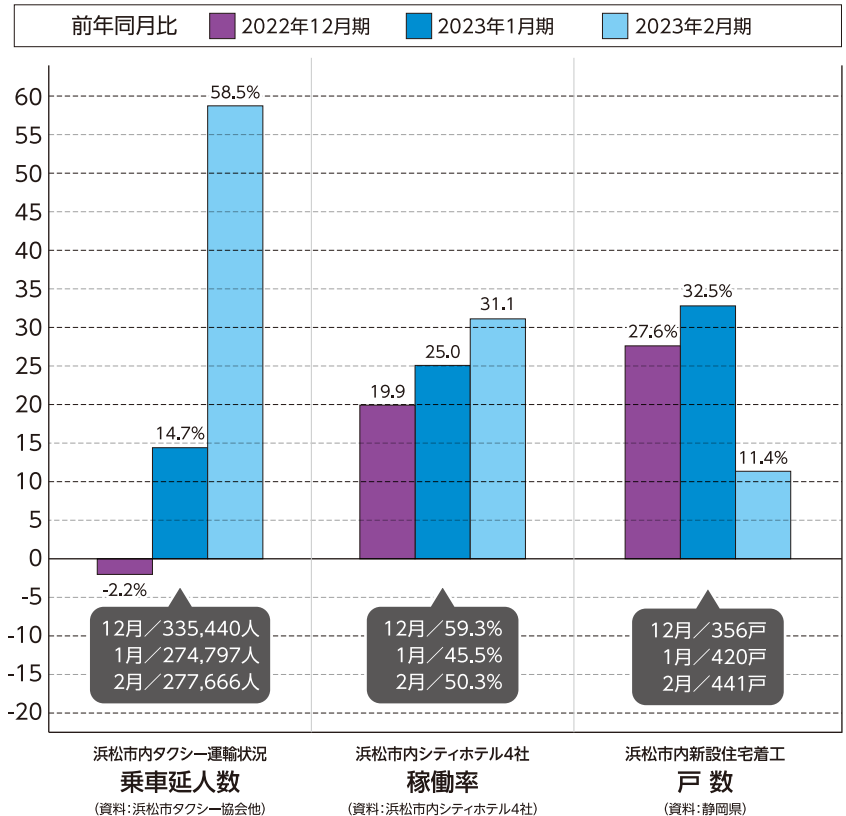


2023年2月の浜松市内ホテルの稼働率は50.3%で、前年同月比31.1ポイントの改善であり、稼働率が50%を回復した。個人観光客・ビジネス客ともに全国旅行支援の影響もあり上昇傾向であった。今後さらなるインバウンドの緩和も予想され、インバウンドの回復が集客の鍵を握っている。

### 住宅着工



2023年2月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比45戸(11.4%)増の441戸となった。内訳をみると、持家は197戸、貸家180戸、分譲住宅は58戸であった。浜松市の新設住宅着工件数は3カ月連続で前年同月を上回った。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年2月の有効求人倍率は1.32倍となった。前年同月との比較では0.1ポイント上回った。前月との比較では0.01ポイント上回った。全国(1.34)との比較では0.02ポイント下回ったが、静岡県(1.27)との比較では0.05ポイント上回った。3カ月連続で静岡県を上回ったが、全国を上回るまでには回復していない。

### 倒産企業



2023年2月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は9件、負債総額は4.8億円となった。倒産件数は前年同月より8件増加した。静岡県全体の倒産件数は19件で、前年同月より15件増加した。エネルギー価格および原材料価格の上昇が続いているが、幅広い業種で十分には価格転嫁が進んでいない。採算悪化による倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

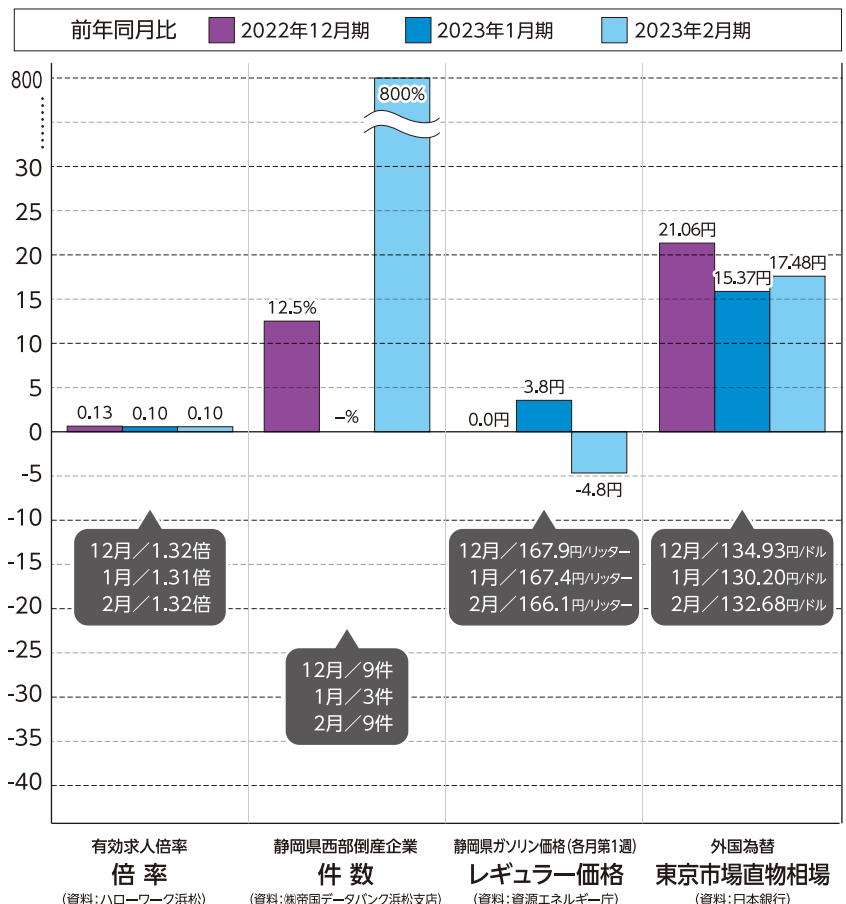


2023年2月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり166.1円となった。前年同月より4.8円下降した。前月との比較でも1.3円下降した。前月対比では3カ月連続で前月を下回っており、ガソリン価格は落ち着いてきている。

### 外国為替



2023年2月の外国為替は1ドル132.68円。前年同月と比較すると17.48円の円安となった。前月との比較では2.48円の円安となった。前月まで前月対比では3カ月連続で円高となっていたが、2月は再び前月より円安となった。



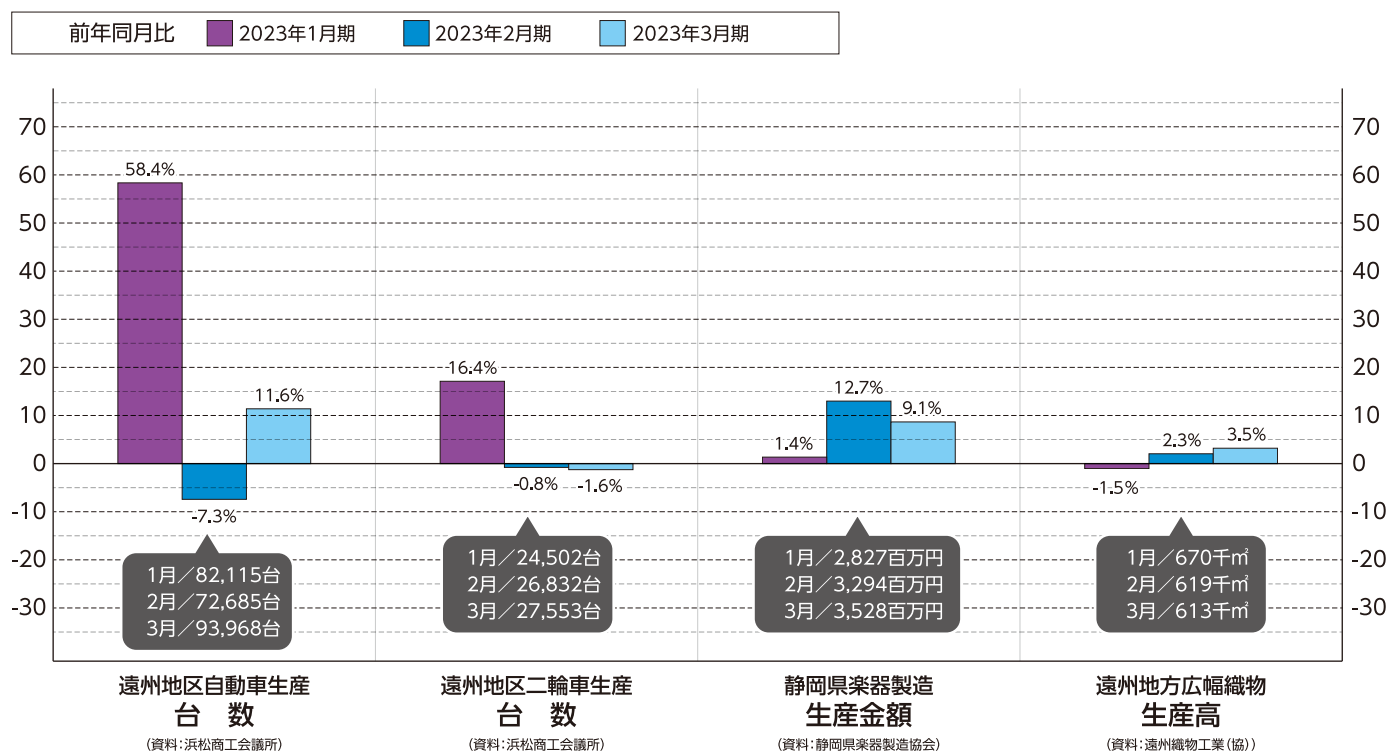




## 業況は緩やかに回復しつつあるも、物価高が足かせとなっている。

製造業で自動車生産台数は、国内向け、輸出向けとも好調に推移した。二輪車生産台数は好調を維持しているものの一服感がみられる。運輸・観光業では、ホテル稼働率は全国旅行支援の影響もあり団体客を中心に好調に推移した。タクシー乗車延人員は回復してきているが、人手不足が課題になり始めている。有効求人倍率は前月を下回った。物価高の進行が企業の収益に影響を与えている。企業倒産件数は前月および前年同月を上回った。外国為替では2月以降2カ月連続で前月より円安となっている。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年3月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比11.6%増の9.3万台となった。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は1.8%減、小型四輪車は63.7%増、普通自動車は17.9%減となった。国内向けは6.9%増、輸出は29.3%増となり、国内・輸出ともに増加している。例年3月は年度末ということで生産台数は増加する傾向がある。過去5年間の比較では2番目に多い生産台数だった。

## 二輪車



2023年3月における二輪車生産台数は前年同月比1.6%減の2.7万台となった。国内向けは0.7%減、輸出は1.7%減といずれも減少だった。排気量別では、50cc以下19.3%減、51cc～125cc以下15.1%減、126cc～250cc以下15.0%増、251cc以上1.1%増となり、大排気量の生産が増えている。二輪車の生産は2022年から好調をキープしているものの一服感がみられる。

## 楽器



2023年3月における生産金額は前年同月比9.1%増の35.2億円となった。生産金額は9カ月連続で前年同月を上回り、2月、3月は30億円超となった。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ8.5%増、電子・電気ピアノ55.5%減、電子オルガン28.2%増、管楽器1.1%増となっている。

## 繊維



2023年3月の生産高は前年同月比3.5%増の613千㎡となり、2カ月連続で前年同月を上回った。原材料の糸値については、依然高止まりをしているため、収益を圧迫している。生産コストの上昇による価格改定の影響や物価高騰による消費の停滞感が表れ、アパレルメーカーが在庫を圧縮する動きがみられる。多品種小ロット発注で採算が悪い生産を強いられている。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

## 運輸



2023年3月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比33.3%増の32万人となった。春休みに入り全国旅行支援のクーポンが出始めてきたり、大河ドラマ館のオープンにより人の流れも増えてきている。しかし、各社ともコロナ禍で人員や車両を減らしており、仕事量は回復してきているが、人員確保が課題になり始めている。

## 観光

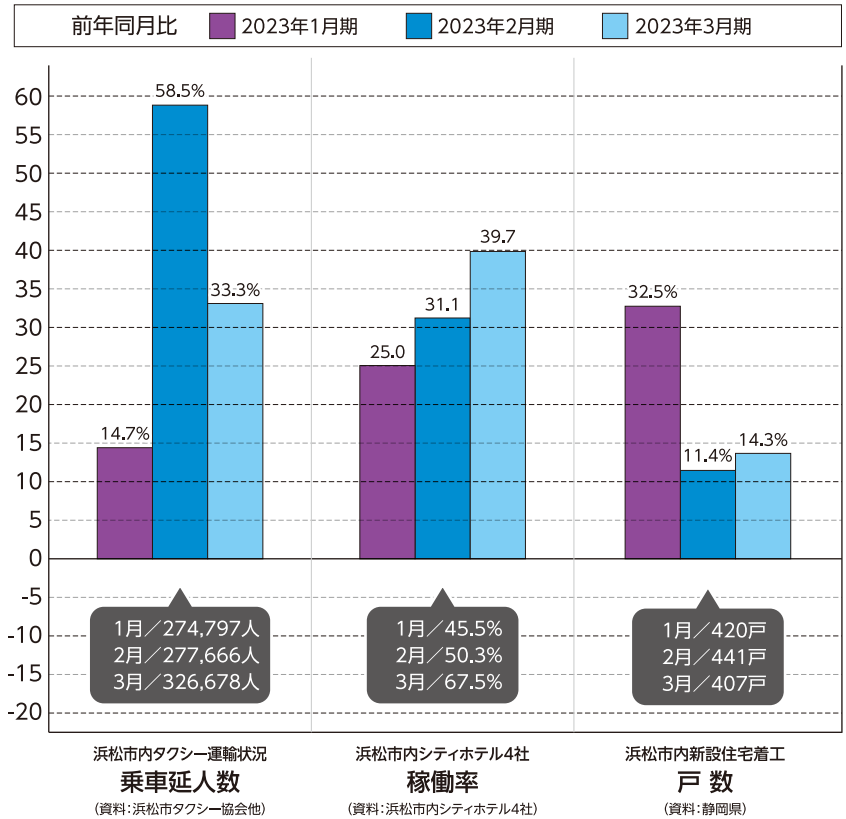


2023年3月の浜松市内ホテルの稼働率は67.5%で、2020年1月以来3年2カ月ぶりに60%台を回復した。全国旅行支援の影響もあり団体客を中心に好調であった。インバウンドは、東南アジアを中心に回復傾向にあり、今後も集客の鍵を握っていると言える。

## 住宅着工



2023年3月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比51戸(14.3%)増加の407戸となった。内訳をみると、持家は172戸、貸家165戸、分譲住宅は69戸であった。2022年度の浜松市の新設住宅着工件数は前年度を400件(8.5%)上回った。



## ③ その他〈主要経済指標〉

## 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年3月の有効求人倍率は1.26倍となった。前年同月との比較では0.06ポイント上回った。前月との比較では0.06ポイント下回った。全国(1.32)との比較では0.06ポイント下回ったが、静岡県(1.23)との比較では0.03ポイント上回った。4カ月連続で静岡県を上回ったが、2022年3月以降は全国を下回る状態が続いている。

## 倒産企業



2023年3月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は12件、負債総額は14.0億円となった。倒産件数は前年同月より8件増加した。静岡県全体の倒産件数は29件で、前年同月より15件増加した。倒産企業数増加の背景には、新型コロナ対策融資の返済が開始となるタイミングで物価高が進み企業の資金繰りに影響を与えていることが考えられる。

## ガソリン価格

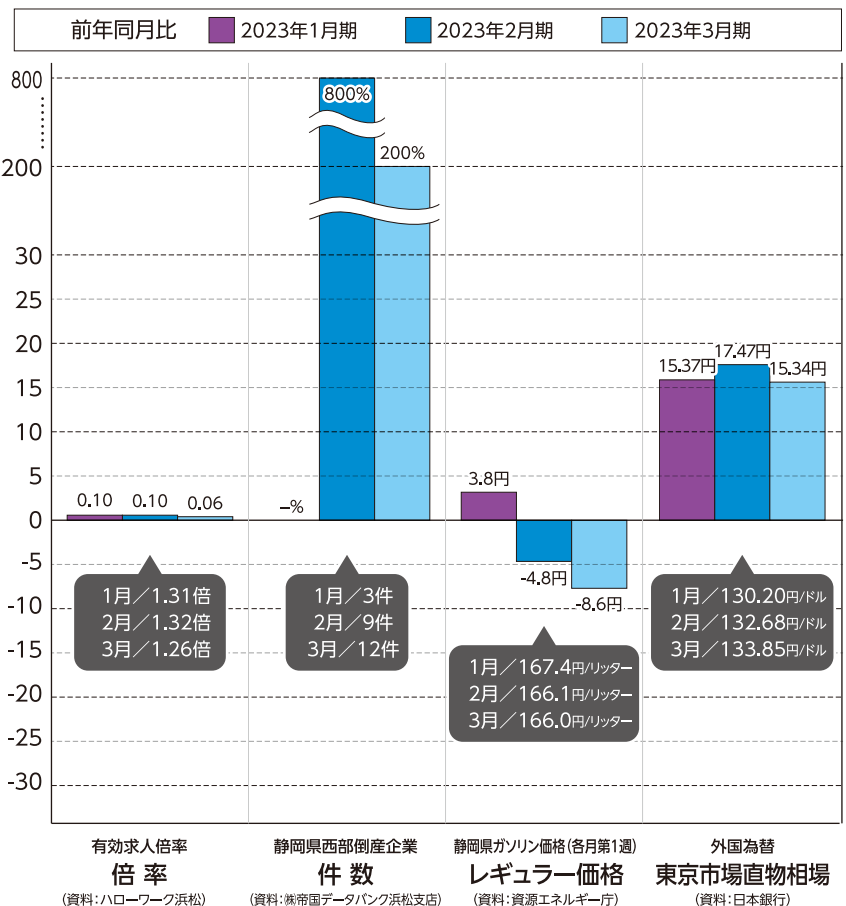


2023年3月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり166.0円となった。前年同月より8.6円低下した。前月との比較でも0.1円低下した。前月対比では4カ月連続で前月を下回った。ここ2〜3カ月ガソリン価格に大きな変化はなくは落ち着いてきている。

## 外国為替



2023年3月の外国為替は1ドル133.85円、前年同月と比較すると15.34円の円安となった。前月との比較では1.17円の円安となった。1月まで前月対比では3カ月連続で円高となっていたが、2月以降は2カ月連続で前月より円安となった。



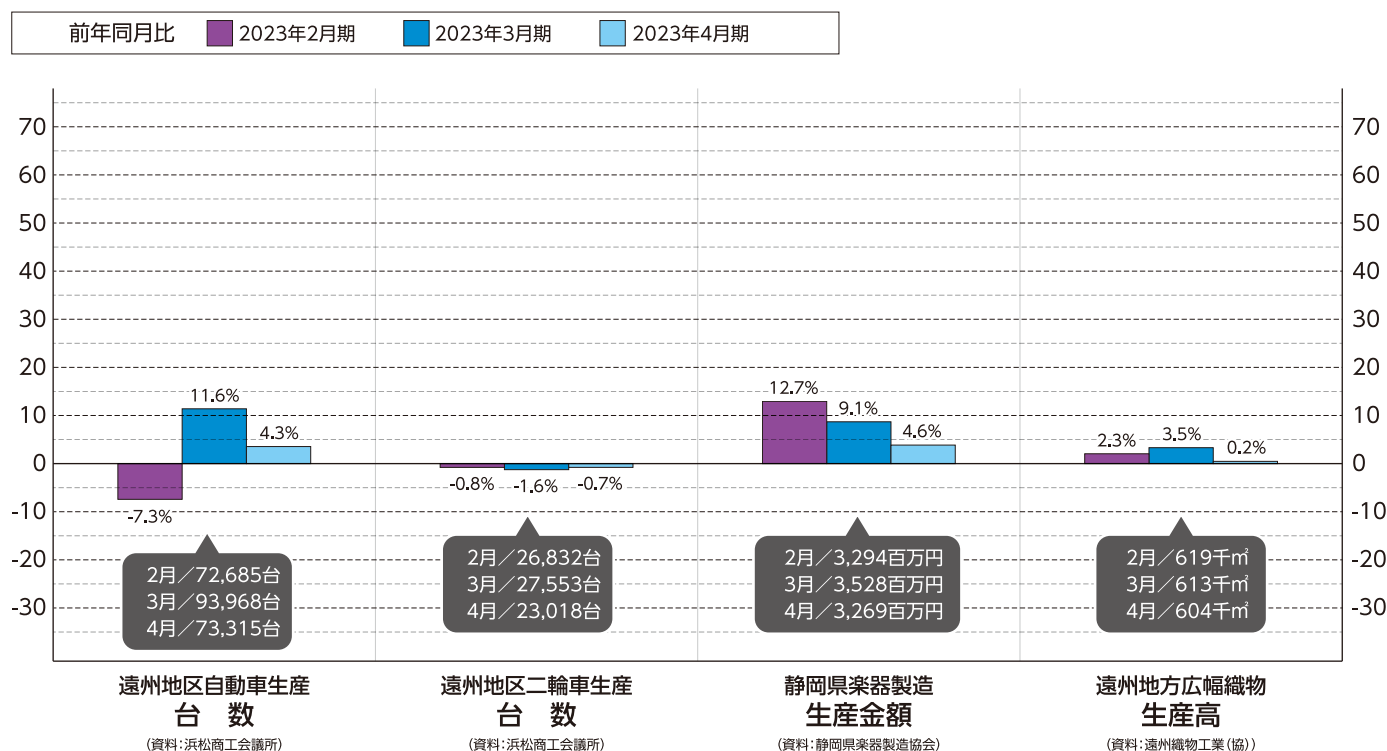
## 浜松地域の経済動向

2023年  
4月を中心に

企業生産は持ち直しの動きが足踏み状態となっており、  
景気全体の基調として概ね横ばいとなっている。

製造業で自動車生産台数は前年対比で増加したが、二輪車は減少した。楽器生産金額は10カ月連続で前年同月を上回っている。タクシー乗車人員は、歓送迎会や催事、夜間の利用客が増加し前年同月を上回った。ホテル稼働率は前月を下回り3カ月ぶりに40%台となった。4月の有効求人倍率は前年同月を上回ったものの2カ月連続で前月より低下した。倒産企業数は前年同月より減少したが、コロナ禍から業績が回復していない企業もあり、原材料高や円安の影響が懸念される。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年4月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比4.3%増の7.3万台となった。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は3.3%減、小型四輪車は28.9%増、普通自動車は7.8%減となり、小型四輪車については12カ月連続で増加となっている。国内向けは15.3%増、輸出は24.5%減となり、国内向けは2カ月連続で増加、輸出は4カ月ぶりに減少となった。

## 二輪車



2023年4月における二輪車生産台数は前年同月比0.7%減の2.3万台となり、3カ月連続で減少となった。国内向けは26.8%減、輸出は3.0%増となり、国内向けは3カ月連続で減少となっている。排気量別では、50cc以下47.1%減、51cc～125cc以下28.0%減、126cc～250cc以下18.4%減、251cc以上16.6%増となり、250cc以下の生産台数が落ち込んでいる。

## 楽器



2023年4月における生産金額は前年同月比4.6%増の32.6億円となった。生産金額は10カ月連続で前年同月を上回り、引き続き30億円超をキープしている。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ20.5%減、電子・電気ピアノ61.7%減、電子オルガン404.9%増、管楽器17.8%増となった。

## 繊維



2023年4月の生産高は前年同月比0.2%増の604千㎡となり、3カ月連続で前年同月を上回った。4～6月は秋冬物向けの生地生産の時期となるが、コロナ禍の状況と変わらず、停滞感が漂っている。多品種小ロット生産への対応が多く、十分な生産量の確保ができていない。糸の値段は高止まりしており、生産コストも上昇傾向にあるため、回復にはまだ時間がかかりそうである。



## ② 非製造業〈主要経済指標〉

## 運輸



2023年4月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比5.5%増の30.2万人となった。4月に入り、会社単位の歓送迎会などの催事や婚礼が増えてきたため、ホテル客の乗車が増えてきている。まだ週末限定だが、夜の繁華街に流れる人も出てきており、少数ではあるが明け方に市外まで送る仕事が出てきつつある。

## 観光

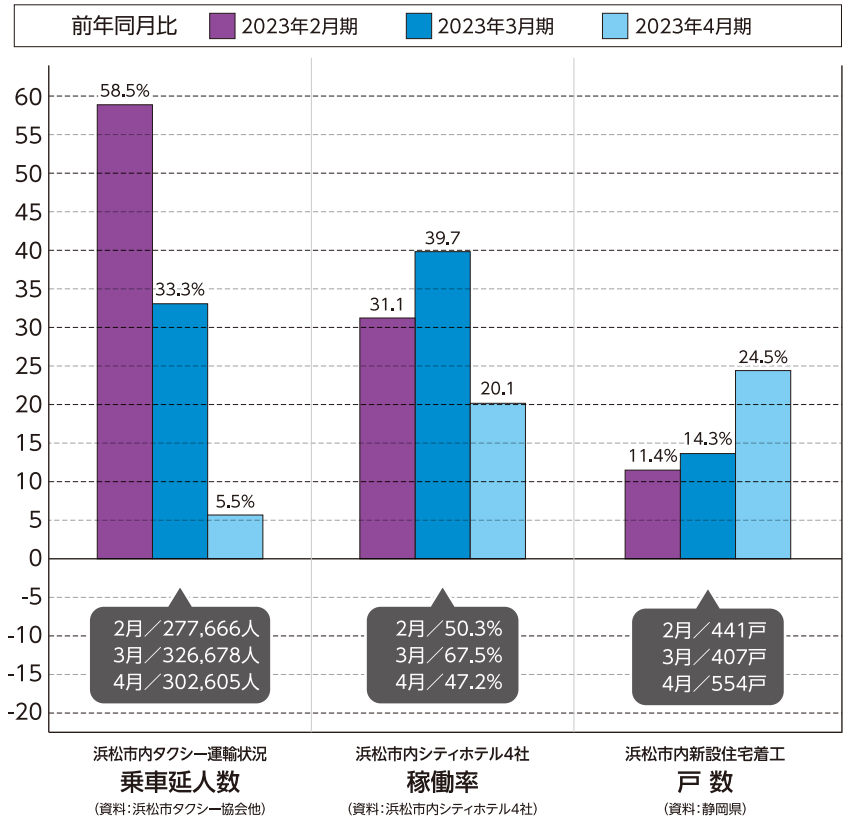


2023年4月の浜松市内ホテルの稼働率は47.2%で、3カ月ぶりに40%台に戻ってしまった。3月までは全国旅行支援の影響もあり団体客を中心に好調であったが、4月は団体の新規予約獲得が難しい状況であった。コロナが5類になる5月以降に期待している。

## 住宅着工



2023年4月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比109戸(24.5%)増加の554戸となった。内訳をみると、持家は156戸、貸家164戸、分譲住宅は233戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

## 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年4月の有効求人倍率は1.18倍となった。前年同月との比較では0.03ポイント上回った。前月との比較では0.08ポイント下回った。全国(1.32)との比較では0.14ポイント、静岡県(1.24)との比較では0.06ポイント下回った。コロナ禍からの回復で一部業種では人手不足となっているが、光熱費や資材価格の高騰で利益が圧迫され求人をためらっている業種もある。

## 倒産企業



2023年4月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は6件、負債総額は44.1億円となった。倒産件数は前年同月より3件減少したが、負債額は29.6億円増加した。負債総額は6カ月連続で前年同月を上回っている。静岡県全体の倒産件数は16件で、前年同月を2件下回った。コロナ禍から業績が回復していない中小企業もあり、原材料高や円安の影響による倒産企業数の増加が懸念される。

## ガソリン価格

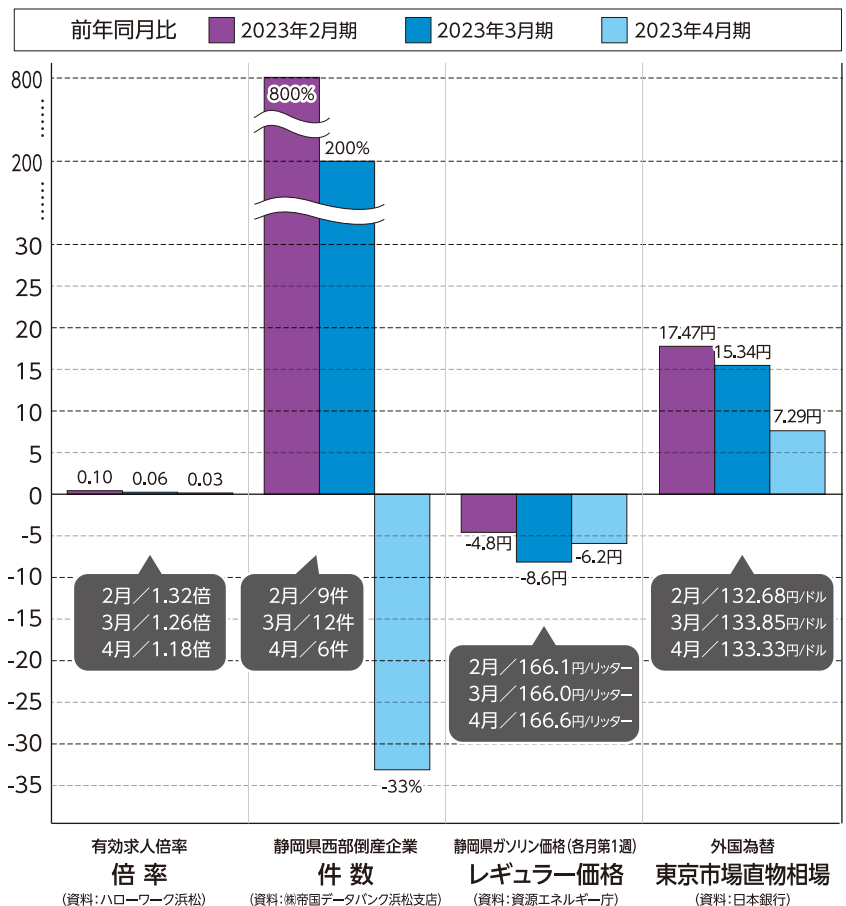


2023年4月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり166.6円となった。前年同月より6.2円低下した。前月との比較では0.6円上昇した。前月まで4カ月連続で前月価格を下回っていたが、4月は上昇に転じた。

## 外国為替



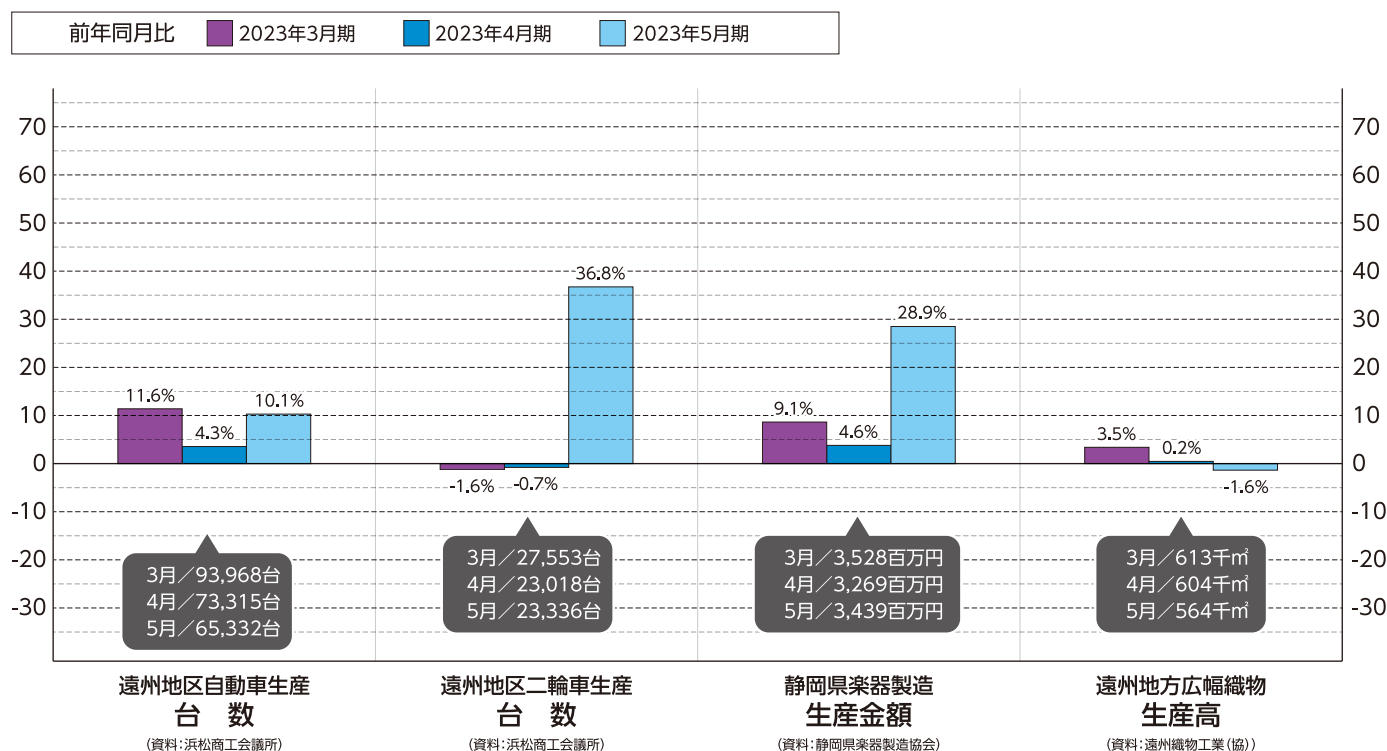
2023年4月の外国為替は1ドル133.33円、前年同月と比較すると7.29円の円安となった。前月との比較では0.52円の円高となった。



## 新型コロナウイルス感染症の5類移行で経済活動が回復し業況は改善

製造業では、供給制約の緩和もあり、自動車、二輪車の生産台数、楽器生産金額は前年同月を上回った。新型コロナウイルス感染症の5類移行で経済活動は正常化しつつあり、タクシー乗車延人員、ホテル稼働率は改善した。浜松管内における雇用情勢は回復傾向となっているが、有効求人数は業種により二極化傾向となっている。倒産件数に大きな変化はないが、物価高騰の影響が懸念される。日米の金利差は解消されず円安要因となっている。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年5月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比10.1%増の6.5万台となった。前年の大手メーカー工場稼働停止による反動増が影響している。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は4.3%増、小型四輪車は32.0%増、普通自動車は30.1%減となり、小型四輪車については13カ月連続で増加となっている。国内向けは23.7%増、輸出は23.2%減となり、国内向けは3カ月連続で増加となった。

## 二輪車



2023年5月における二輪車生産台数は前年同月比36.8%増の2.3万台となり、4カ月ぶりに増加となった。国内向けは17.9%減、輸出は48.0%増となり、輸出は2カ月連続で増加となっている。排気量別では、50cc以下59.7%増、51cc～125cc以下19.6%減、126cc～250cc以下17.0%減、251cc以上54.4%増となり、251cc以上は2023年2月の0.6%減を除けば12カ月増加となっている。

## 楽器



2023年5月における生産金額は前年同月比28.9%増の34.3億円となった。生産金額は11カ月連続で前年同月を上回り、引き続き月間30億円超をキープしている。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ16.6%増、電子・電気ピアノ53.5%減、電子オルガン33.3%増、管楽器23.2%増となった。

## 繊維



2023年5月の生産高は前年同月比1.6%減の564千㎡となり、4カ月ぶりに前年同月を下回った。コロナ禍から経済活動が再開しつつあるが、アパレル向け生地生産は、原材料高・生産コスト高・物流コスト高で厳しさが続いている。アパレル企業によっては、生地生産の依頼の他、現物在庫の問い合わせが増えている。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年5月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比8.9%増の32.1万人となった。5月には浜松まつりが開催され、風揚げをする人やその家族を中心に乗車があった。また、浜松まつり以降は例年売上が下がるが、今年はホテルなどの催事も増え、前年同月を上回った。

### 観光

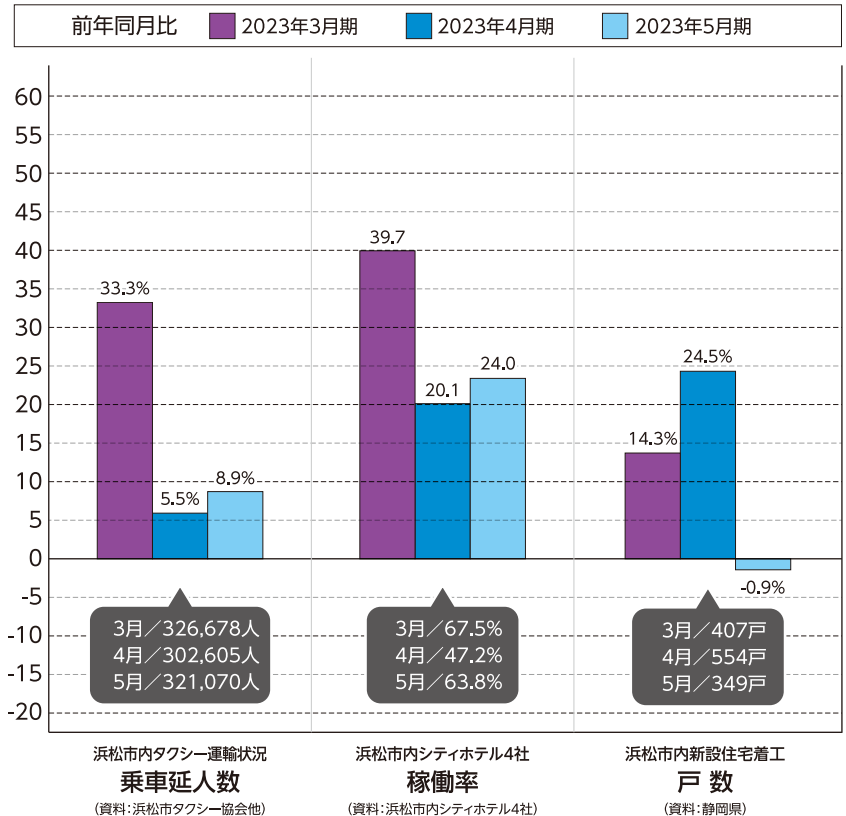


2023年5月の浜松市内ホテルの稼働率は63.8%で、2カ月ぶりに60%台に戻した。5月にコロナが5類に移行し、浜松まつりや松本潤さんの騎馬武者行列もあり、個人客を中心に好調だった。インバウンドも伸びつつあるが、まだ東南アジアが中心で、中国人客が戻るかがポイントになっている。

### 住宅着工



2023年5月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比3戸(0.9%)減少の349戸となった。内訳をみると、持家は166戸、貸家116戸、分譲住宅は67戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年5月の有効求人倍率は1.22倍となった。前年同月との比較では0.12ポイント上回った。前月との比較では0.04ポイント上回った。全国(1.31)との比較では0.09ポイント、静岡県(1.26)との比較では0.04ポイント下回った。有効求人倍率は前年同月を上回る月が続いており、雇用情勢の回復がみられるが、全国、静岡県を上回るまでには回復していない。業種により求人数の二極化の傾向が見られる。

### 倒産企業



2023年5月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は5件、負債総額は7.6億円となった。倒産件数は前年同月より1件減少したが、負債総額は1.9億円増加した。負債総額は7カ月連続で前年同月を上回っている。静岡県全体の倒産件数は12件で、前年同月を9件下回った。原材料高や円安が長期化しており、今後の倒産増加が懸念される。

### ガソリン価格

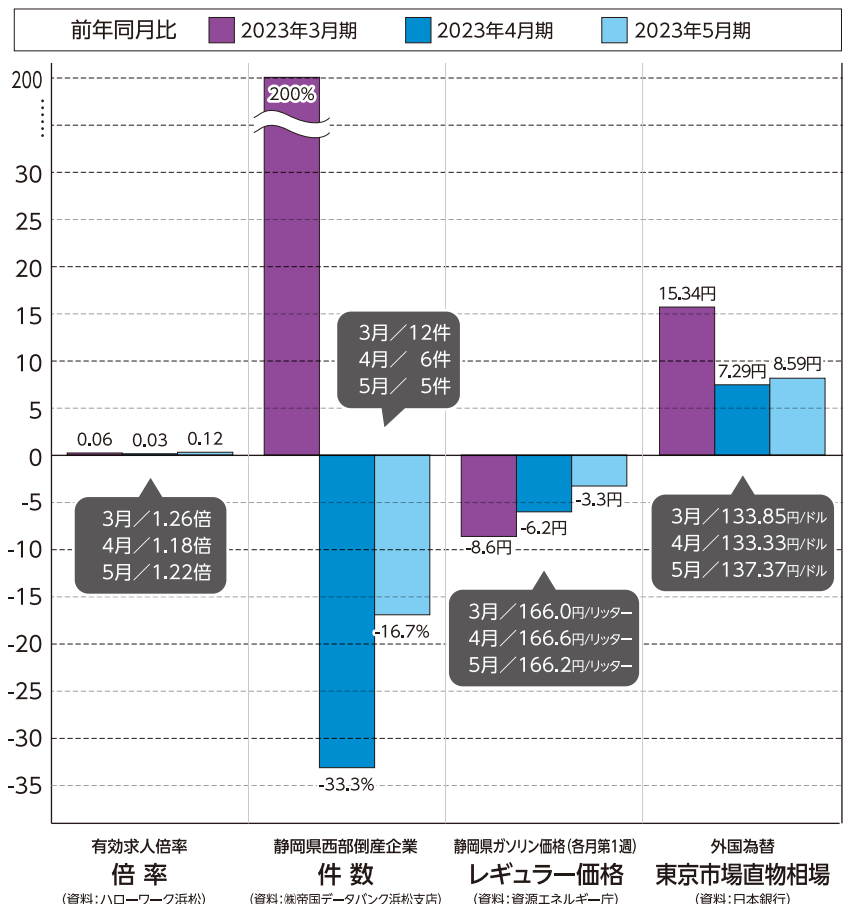


2023年5月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり166.2円となった。前年同月より3.3円低下した。前月との比較では0.4円低下した。

### 外国為替



2023年5月の外国為替は1ドル137.37円、前年同月と比較すると8.59円、前月との比較では4.04円の円安となった。日米の金利差は解消されず円安要因となっている。



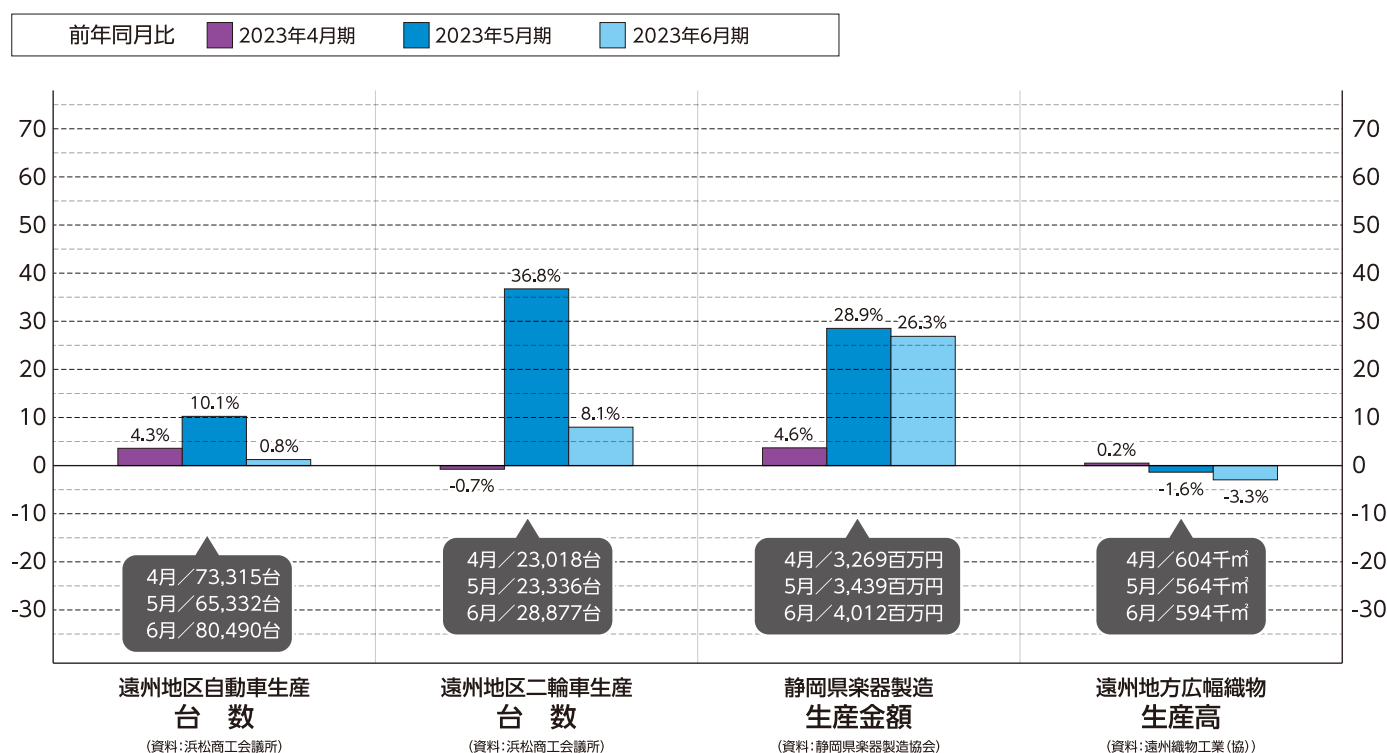




## 経済活動の回復により業況は改善するも人員不足、 調達コストの増加が懸念材料となっている。

製造業では、半導体などの部品供給不足が緩和されつつあり、自動車、二輪車および楽器は堅調に推移している。一方、繊維は前年同月を下回った。アフターコロナで経済活動が再開し、小売りや飲食、タクシーなどのサービス業は回復基調にあるものの人員不足が懸念材料となっている。ホテルの稼働率は再び50%割れとなった。雇用情勢は回復傾向にある一方、企業の倒産は増加傾向にあり、調達コストの増加を価格転嫁できず収益を圧迫している。円安は進行し、7カ月ぶりに140円台となった。

### ① 製造業〈主要経済指標〉



#### 自動車



2023年6月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比0.8%増の8.0万台となった。半導体などの部品供給不足が緩和されつつあり、4カ月連続で増加となった。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は1.5%減、小型四輪車は4.4%増、普通自動車は19.0%増となり、小型四輪車については14カ月連続で増加となっている。国内向けは12.7%増、輸出は26.9%減となり、国内向けは4カ月連続で増加となった。

#### 二輪車



2023年6月における二輪車生産台数は前年同月比8.1%増の2.8万台となり、2カ月連続で増加となった。国内向けは14.9%減、輸出は11.2%増となり、輸出は3カ月連続で増加となっている。排気量別では、50cc以下92.0%増、51cc～125cc以下17.1%減、126cc～250cc以下5.7%減、251cc以上6.9%増となり、251cc以上は4カ月連続で増加となっている。

#### 楽器



2023年6月における生産金額は前年同月比26.3%増の40.1億円となり、12カ月連続で前年同月を上回っている。2016年6月ぶり(7年ぶり)に月間生産金額40億円超となった。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ6.7%増、電子・電気ピアノ43.6%減、電子オルガン95.2%増、管楽器15.7%増となった。

#### 繊維



2023年6月の生産高は前年同月比3.3%減の594千㎡となり、2カ月連続で前年同月を下回った。コロナが落ち着き、人流が戻ったことで、衣料品販売は好調と伝えられているが、産地内での生地需要は現状では限定的な様子。また、原材料高・生産コスト高・物流コスト高で厳しさが続いている。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年6月におけるタクシー乗車人員(個人タクシー除く)は、前年同月比2.3%増の29万人となった。大河ドラマ館のオープン、浜松まつりの開催、コロナの5類移行などにより人の流れも増えてきている。しかし、各社ともコロナ禍で人員や車両を減らしており、仕事量は回復してきているが、人員確保が課題になり始めている。

### 観光

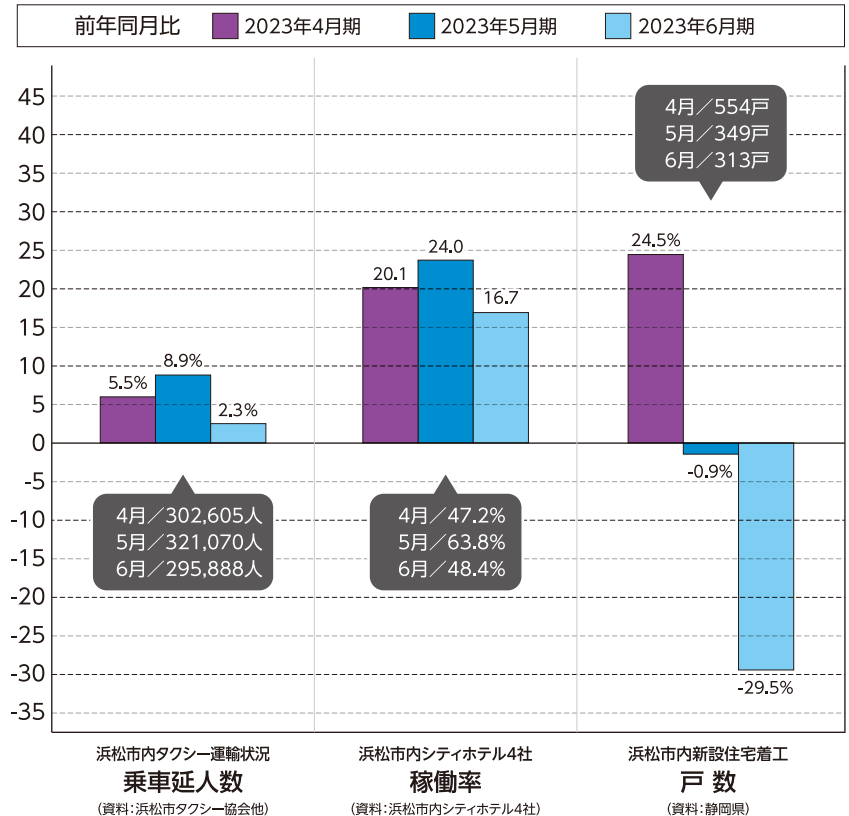


2023年6月の浜松市内ホテルの稼働率は48.4%で、今年上半年の平均稼働率は53.8%となった。5月にコロナが5類に移行し、個人客を中心に好調だったが、6月は伸び悩んだ。インバウンドも伸びつつあるが、まだ東南アジアが中心で、中国人客が戻るかがポイントになっている。

### 住宅着工



2023年6月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比131戸(29.5%)減少の313戸となった。内訳をみると、持家は168戸、貸家87戸、分譲住宅は58戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年6月の有効求人倍率は1.22倍となった。前年同月との比較では0.11ポイント上回った。前月との比較では横ばいだった。全国(1.30)との比較では0.08ポイント、静岡県(1.26)との比較では0.04ポイント下回り、3カ月連続で下回っている。有効求人倍率は前年同月を連続で上回っているが、コロナ禍前の水準(2018年の1年間平均:1.69倍)までには回復していない。

### 倒産企業



2023年6月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は4件、負債総額は2.0億円だった。倒産件数は前年同月との比較では同じだったが負債総額は0.73億円増加し、8カ月連続で前年同月を上回っている。静岡県全体の倒産件数は21件で前年同月を6件上回った。後継者不在、原材料費の高騰およびエネルギー価格の上昇などにより、今後の倒産増加が懸念される。

### ガソリン価格

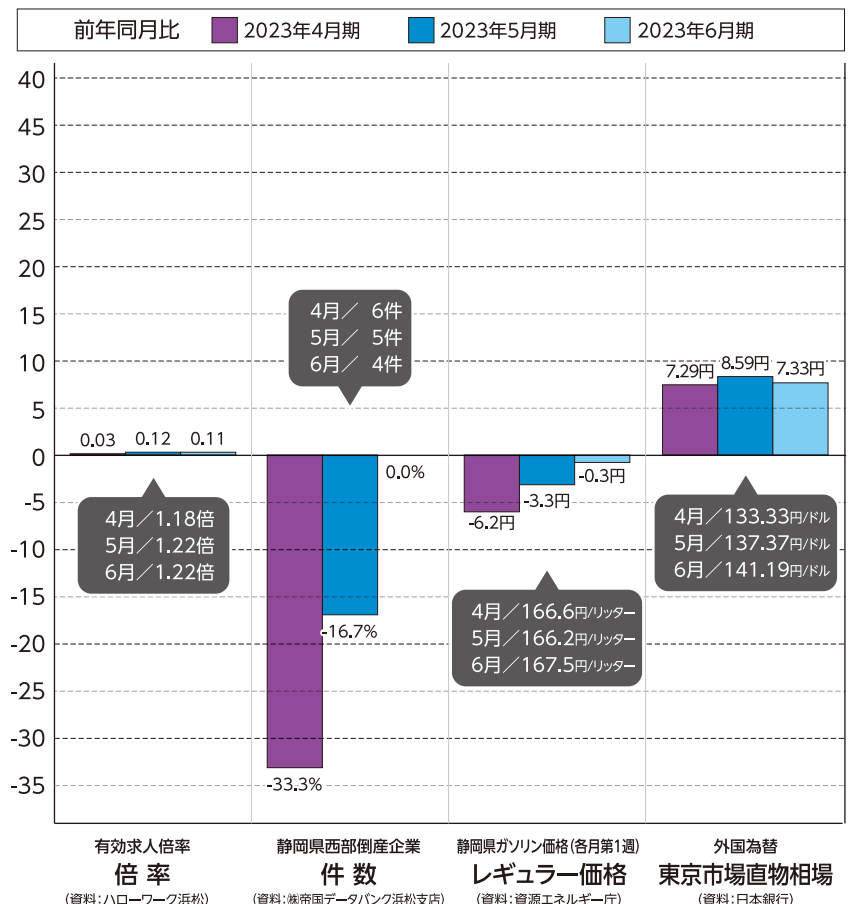


2023年6月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり167.5円となり、前年同月より0.3円低下した。前月との比較では1.3円上昇した。

### 外国為替



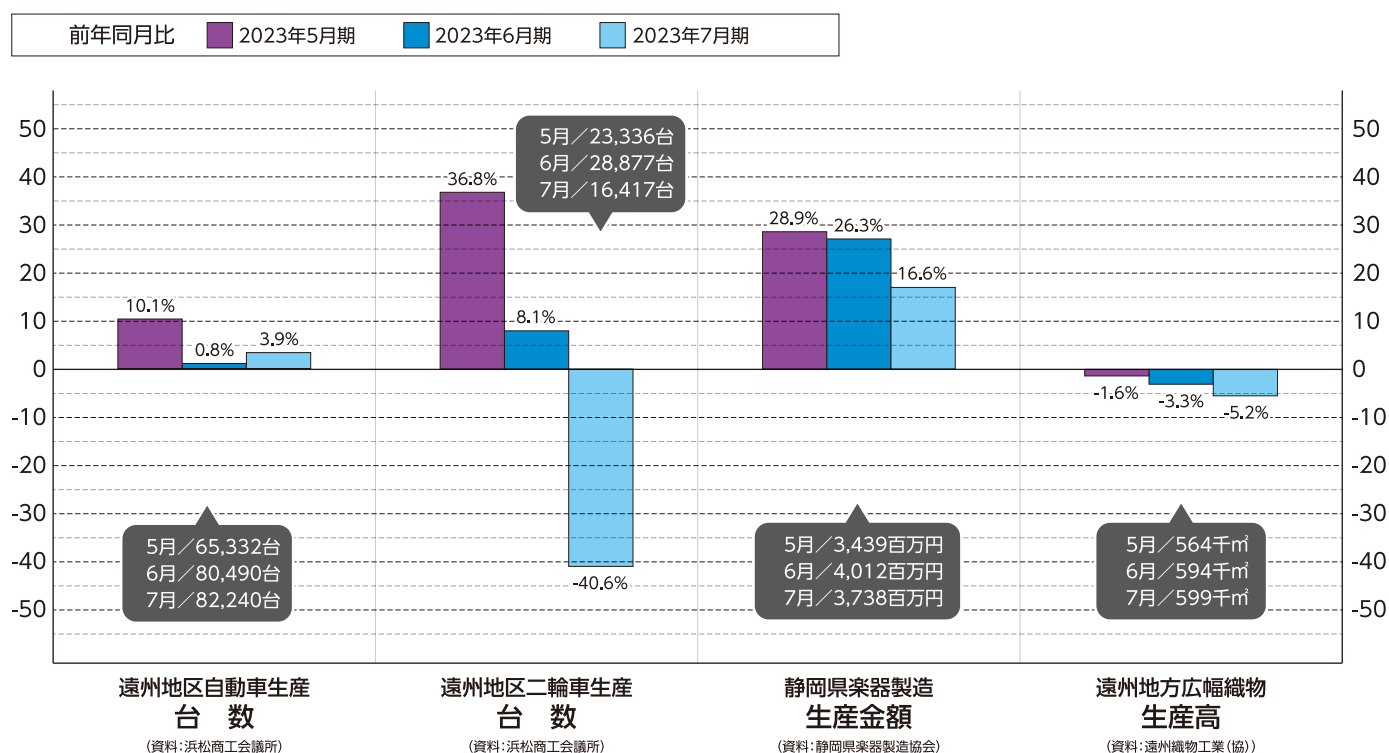
2023年6月の外国為替は1ドル141.19円となった。前年同月との比較では7.33円、前月との比較では3.82円の円安となり、7カ月ぶりに140円台となった。



## 製造業は半導体などの部品供給不足が緩和され業況回復、サービス業は人手不足が課題となっている。

製造業では、半導体などの部品供給不足が緩和され、自動車生産台数および楽器生産金額は順調に伸びている。一方、二輪車は前年同月と比較して約4割減となり、輸出減が大きく影響している。繊維も前年同月を下回った。コロナが5類になり、経済活動の再開に伴い、タクシー需要は回復しているものの人手不足によりビジネスチャンス逃している。ホテルの稼働率は50%を上回った。雇用情勢は回復傾向にある一方、企業の倒産は前年同月の2倍となった。円安は更に進行し、2カ月連続で140円台となった。

### ① 製造業〈主要経済指標〉



#### 自動車



2023年7月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比3.9%増の8.2万台となった。半導体などの部品供給不足が緩和され、5カ月連続で増加となっている。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は1.4%増、小型四輪車は8.4%増、普通自動車は19.0%増となり、全て増加となった。小型四輪車については15カ月連続で増加となっている。国内向けは16.2%増、輸出は25.3%減となり、国内向けは5カ月連続で増加となった。

#### 二輪車



2023年7月における二輪車生産台数は前年同月比40.6%減の1.6万台となり、3カ月ぶりに大幅減少となった。国内向けは35.7%減、輸出は41.2%減となり、輸出減が大きく影響している。排気量別では、50cc以下54.8%減、51cc～125cc以下48.4%減、126cc～250cc以下63.6%減、251cc以上30.4%減となり、全ての排気量が減少となった。251cc以上は5カ月ぶりの減少となった。

#### 楽器



2023年7月における生産金額は前年同月比16.6%増の37.3億円となり、13カ月連続で前年同月を上回っている。前月(6月)の月間生産金額40億円には届かなかった。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ2.8%減、電子・電気ピアノ63.4%減、電子オルガン13.0%減、管楽器15.3%増となった。

#### 繊維



2023年7月の生産高は前年同月比5.2%減の599千㎡となり、3カ月連続で前年同月を下回った。5月にコロナが5類になり落ち着いてきているが、遠州地方の生産高は回復していない。食料品など生活必需品を含めた物価高騰が進んでおり、衣料品の購入優先順位が下がっているのも影響がある。また、アパレルメーカーも在庫を絞ったり、発注ロットを小さくしている傾向がある。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年7月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比4.7%増の32万人となった。コロナが5類になり、ホテルの催事や夏のスポーツイベントも開催され、乗車人員も増加している。しかし、各社ともコロナ禍で人員や車両を減らしており、仕事量は回復してきているが、乗務員不足が課題になっている。

### 観光

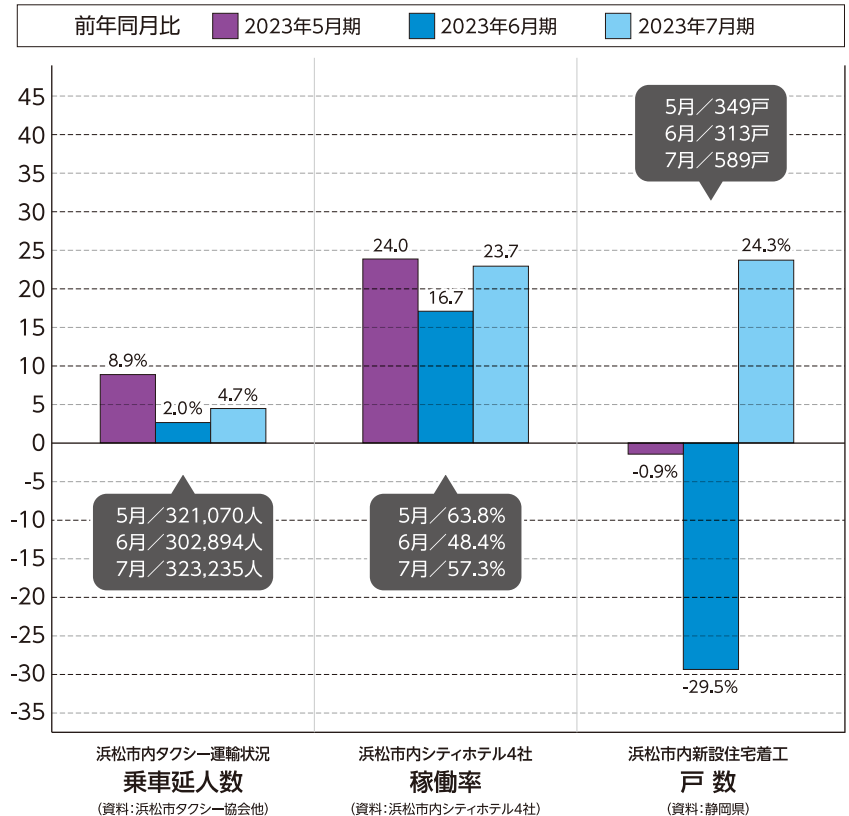


2023年7月の浜松市内ホテルの稼働率は57.3%であった。団体客は、学生のスポーツ関連の大会が開催され、大幅に伸びた。個人観光客は伸び悩む傾向であったが、ビジネス客に関しては増加傾向であった。インバウンドも伸びつつあるが、まだ東南アジアが中心で、中国人客が戻るのがポイントになっている。

### 住宅着工



2023年7月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比115戸(24.3%)増加の589戸となった。内訳をみると、持家は230戸、貸家156戸、分譲住宅は202戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年7月の有効求人倍率は1.26倍となった。前年同月との比較では0.10ポイント、前月との比較では0.04ポイント上回った。全国(1.29)との比較では0.03ポイント下回り、静岡県(1.22)との比較では0.04ポイント上回っている。今年5月に新型コロナウイルスが5類へ移行したことでサービス業や観光・飲食業などで求人が増えていると推察される。

### 倒産企業



2023年7月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は8件、負債総額は7.9億円だった。前年同月との比較では4件増加し、負債総額は7.2億円増加した。静岡県全体の倒産件数は24件で前年同月を18件上回った。7月は浜松市、静岡県ともに増加しており、今後の倒産件数増加が懸念される。

### ガソリン価格

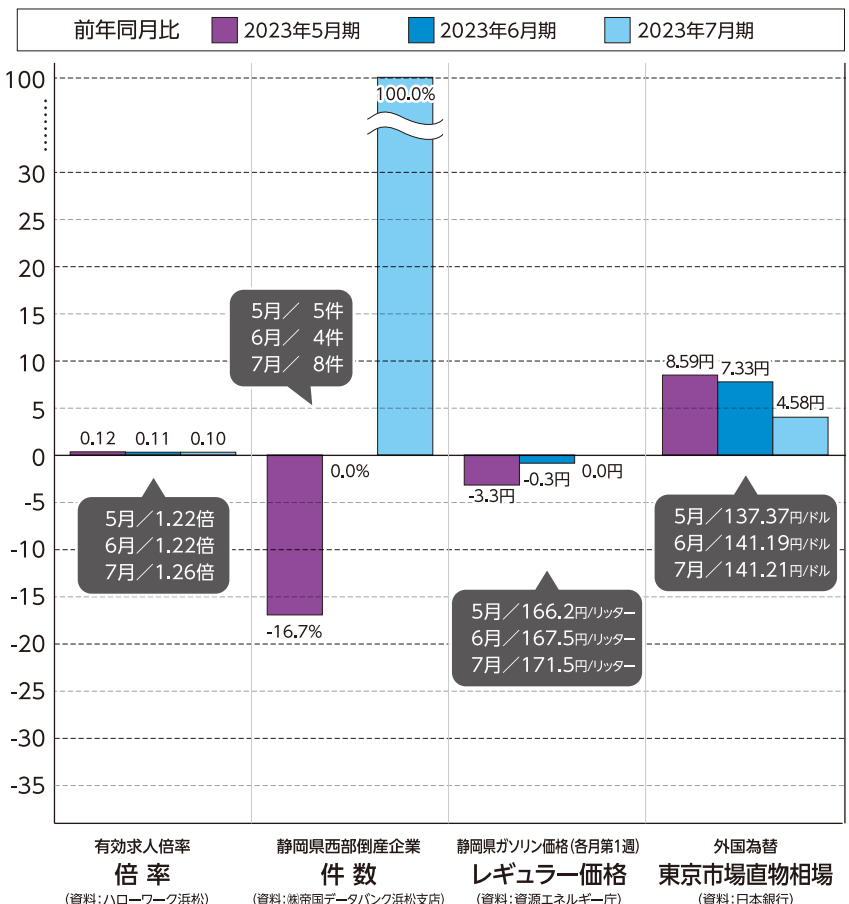


2023年7月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり171.5円で、2022年7月以来の170円超えとなった。7週連続の値上がりで、前月との比較では4.0円上昇となった。ガソリンの元となる原油価格の高止まりとドル建てで取引される原油は円安が小売価格に反映していることが要因となっている。

### 外国為替



2023年7月の外国為替は1ドル141.21円となった。前年同月との比較では4.58円、前月との比較では0.02円の円安となった。日本は金融緩和策を継続する方針で円安が続いている。





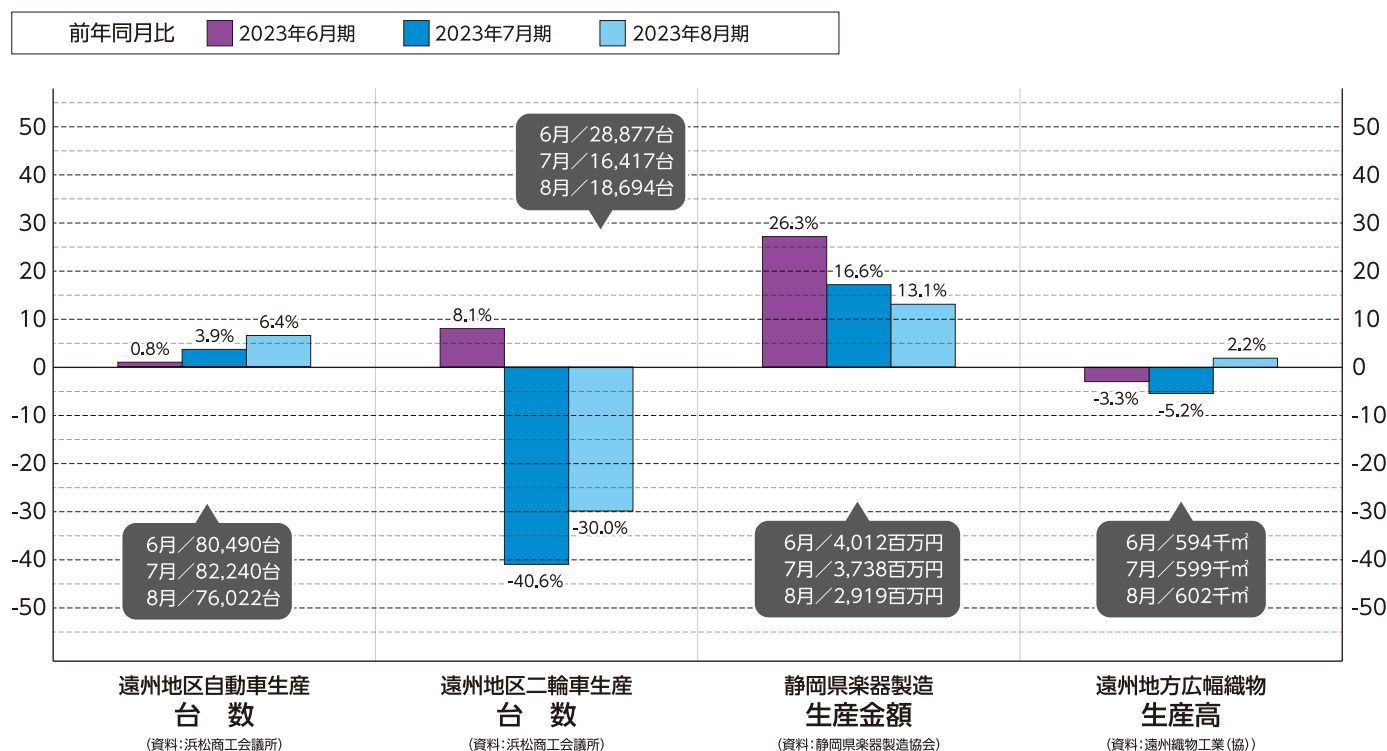
## 浜松地域の経済動向

2023年  
8月を中心に

## 自動車産業が牽引し、製造業全般では業況回復している。

製造業では、自動車の生産が復調している。二輪車は前年同月と比較して3割減となり、前月と同様に輸出の減少が影響している。楽器は前年同月を上回っているが生産金額30億円を割り込んだ。繊維も前年同月を上回っているが微増に留まっている。タクシーの乗車人員は、コロナ5類と併せて8月のお盆休みにより増加し、駅にタクシー待ちの列もみられた。ホテルの稼働率は3カ月ぶりに60%を上回った。雇用情勢は回復傾向にある一方、ガソリン価格や材料費の高騰によりコスト上昇が企業の経営を圧迫している。円安は更に進行し、3カ月連続で140円台となった。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年8月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比6.4%増の7.6万台となり、6カ月連続の増加となった。半導体などの部品供給不足の緩和により生産は増加傾向にある。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は5.7%増、小型四輪車は6.6%増、普通自動車は23.9%増となり、全てで増加となった。小型四輪車については16カ月連続で増加となっている。国内向けは13.8%増、輸出は12.4%減となり、国内向けは6カ月連続で増加となった。

## 二輪車



2023年8月における二輪車生産台数は前年同月比30.0%減の1.8万台となり、2カ月連続で減少となった。国内向けは41.1%減、輸出は28.3%減となり、輸出減が大きく影響している。排気量別では、50cc以下71.5%減、51cc～125cc以下73.4%減、126cc～250cc以下24.5%減、251cc以上15.7%減となり、全ての排気量が減少となった。好調だった251cc以上も2カ月連続で減少となっている。

## 楽器



2023年8月における生産金額は前年同月比13.1%増の29.1億円となり、14カ月連続で前年同月を上回っているが、7カ月ぶりに30億円を割り込んだ。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ1.3%減、電子・電気ピアノ47.2%減、電子オルガン72.5%減、管楽器7.4%増となった。

## 繊維



2023年8月の生産高は前年同月比2.2%増の602千㎡となり、4カ月ぶりに前年同月を上回った。コロナが5類に移行し、落ち着いてきているが、衣料品向けの綿織物の生産が主力の遠州地方は、依然として厳しい状況である。展示会においても、アパレルメーカーの動きは鈍く、在庫を絞ったり、発注ロットを小さくしている傾向がある。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年8月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比12.6%増の31.8万人となった。コロナが5類になり、8月はお盆休みもあるため、乗車人員も増加している。しかし、各社ともコロナ禍で人員や車両を減らしており、タクシーの台数が少ない土・日の午前中などは、駅にタクシー待ちの列ができていたりしている。

### 観光

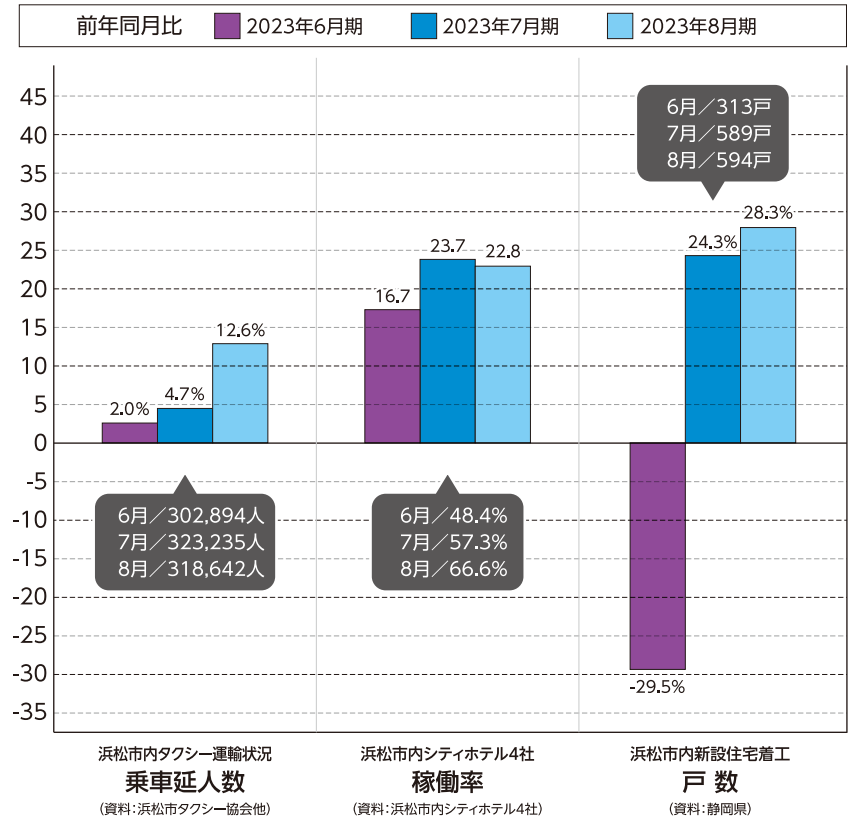


2023年8月の浜松市内ホテルの稼働率は66.6%であった。団体客は、学生のスポーツ関連の大会が復活し、稼働が上昇した。個人観光客も夏休みということもあり増加した。8月より中国が日本への団体旅行を解禁したが、伸び悩んでいる。

### 住宅着工



2023年8月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比131戸(28.3%)増加の594戸となった。内訳をみると、持家は225戸、貸家274戸、分譲住宅は94戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年8月の有効求人倍率は1.27倍となった。前年同月との比較では0.06ポイント、前月との比較では0.01ポイント上回った。全国(1.29)との比較では0.02ポイント下回り、静岡県(1.20)との比較では0.07ポイント上回った。新型コロナ禍からの経済活動再開に伴い、サービス業を中心に求人が増えている。

### 倒産企業



2023年8月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は4件、負債総額は12.3億円だった。前年同月との比較では1件減少したが負債総額は5.3億円増加した。静岡県全体の倒産件数は14件で前年同月を1件減少した。ゼロゼロ融資の返済が始まり、原材料やエネルギー価格の高騰で資金繰りが悪化し、返済困難に陥る企業が増えている。

### ガソリン価格

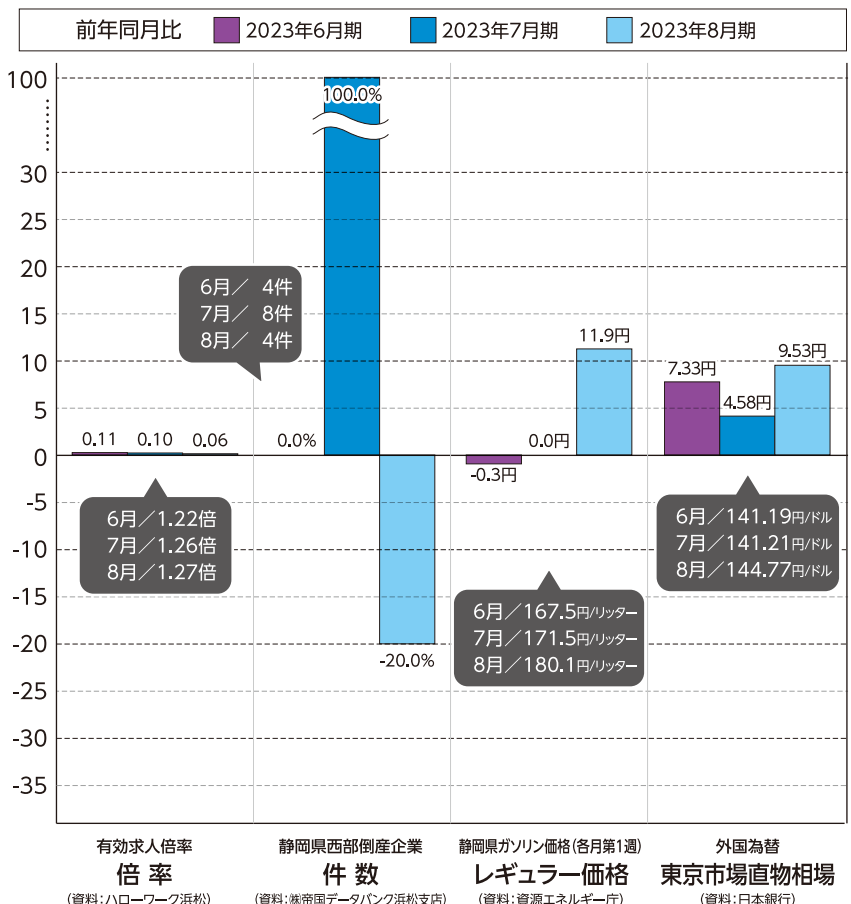


2023年8月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり180.1円で、2008年8月以来の180円超えとなった。12週連続の値上がりで、前月との比較では8.6円上昇となった。円安と原油価格高騰に加え、国からの補助金の縮小が影響している。

### 外国為替



2023年8月の外国為替は1ドル144.77円となった。前年同月との比較では9.53円、前月との比較では3.56円の円安となった。4ヵ月連続で前月より円安となるなど円安に歯止めが掛かっていない。



業況DIは小幅改善

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、前回調査から小幅に改善した。  
「経済活動は回復基調」にあるものの、  
「物価高」、「人手不足」、「円安」が足かせとなっている。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI (Diffusion Index) による分析で、各質問項目のプラス傾向割合から  
マイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

2023.  
7月～9月期

中小企業景気動向調査  
結果報告

2023年11月発行

|                 | 全 体 |     |     |     | うち小規模事業者                                                                                                                   |     |     |     |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|
|                 | 調査数 | 業 況 |     |     | 調査数                                                                                                                        | 業 況 |     |     |
|                 |     | 前 期 | 今 期 | 見通し |                                                                                                                            | 前 期 | 今 期 | 見通し |
| 全 体             | 630 |     |     |     | 262                                                                                                                        |     |     |     |
| 二輪車部品製造         | 52  |     |     |     | 19                                                                                                                         |     |     |     |
| 自動車部品製造         | 75  |     |     |     | 20                                                                                                                         |     |     |     |
| 機械部品製造          | 62  |     |     |     | 35                                                                                                                         |     |     |     |
| 楽器部品製造          | 16  |     |     |     | 11                                                                                                                         |     |     |     |
| 繊維製造            | 21  |     |     |     | 17                                                                                                                         |     |     |     |
| 卸売業             | 76  |     |     |     | 28                                                                                                                         |     |     |     |
| 小売業             | 60  |     |     |     | 26                                                                                                                         |     |     |     |
| 建設業             | 71  |     |     |     | 12                                                                                                                         |     |     |     |
| 不動産業            | 45  |     |     |     | 32                                                                                                                         |     |     |     |
| 飲食・宿泊・<br>レジャー等 | 24  |     |     |     | 「2023年7月～9月期中小企業景気動向調査」より<br>浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等の<br>DI 値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。<br>経営者へのヒアリングをベースに算出しています。 |     |     |     |

調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 主要取引先から増産計画を受け、業況は良好に推移している。(二輪車部品製造業)
- 半導体不足が緩和されてきて、今後は売上・利益ともに回復見込みである。(自動車部品製造業)
- 新車の納入が通常に戻りつつある反面、中古車市場は沈静化してきた。(自動車販売)
- 仕入値の高騰でメニューの値上げを実施した。(飲食業)

天気予報図の見方

DI:景気動向指数



データで見る経済の動き

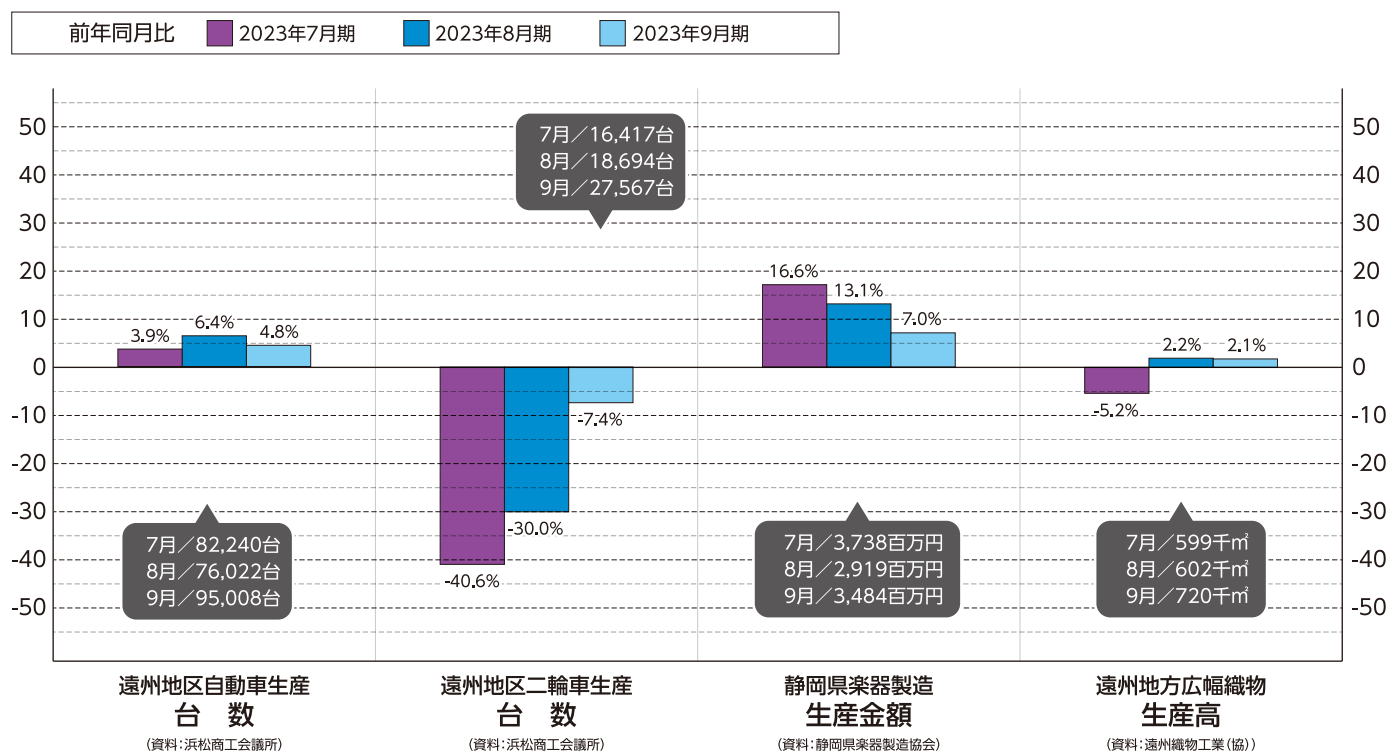
## 浜松地域の経済動向

2023年  
9月を中心に

半導体などの部品供給不足の緩和により、  
製造業全般で業況は回復傾向にある。

製造業では、自動車の生産が7カ月連続で前年同月を上回った。二輪車は輸出の減少が影響し3カ月連続で減少。楽器は生産金額30億円台を回復し、繊維も前年同月を2カ月連続で上回った。タクシーの乗車人員は、企業活動が通常に戻り、ホテルの催事が増えたことで配車件数が増加。ホテルの稼働率は2カ月連続で60%を上回ったが、人手不足の問題が生じている。雇用情勢は回復傾向にあり、有効求人倍率が全国および静岡県を上回った。一方でガソリン価格や材料費の高騰は企業の経営を圧迫している。円安は更に進行し、5カ月連続で円安となった。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年9月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比4.8%増の9.5万台となり、7カ月連続の増加となった。半導体などの部品供給不足の緩和により生産は増加している。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は7.2%増、小型四輪車は0.9%減、普通自動車は12.8%増となり、軽自動車は3カ月連続で増加し、月間生産台数は昨年および今年の最高を記録した。国内向けは4.0%増、輸出は7.0%増となり、国内向けは7カ月連続で増加となっている。

## 二輪車



2023年9月における二輪車生産台数は前年同月比7.4%減の2.7万台となり、3カ月連続で減少となった。国内向けは10.7%増、輸出は9.5%減となっている。排気量別では、50cc以下61.6%減、51cc～125cc以下7.0%減、126cc～250cc以下29.7%増、251cc以上3.9%減となり、好調だった輸出および251cc以上が3カ月連続で減少となった。

## 楽器



2023年9月における生産金額は前年同月比7.0%増の34.8億円となり、15カ月連続で前年同月を上回り、30億円台を回復した。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ8.4%減、電子・電気ピアノ44.8%減、電子オルガン11.2%減、管楽器2.2%増となった。

## 繊維



2023年9月の生産高は前年同月比2.1%増の720千㎡となり、2カ月連続で前年同月を上回った。来春夏向け、衣料品用の生産が活発となる時期を迎え、受注は増えつつあるが、先行き見通しは立たない状況である。この主な要因は、アパレルメーカーのモノを作り過ぎない傾向にあると考えられる。その傾向のため受注は小ロット化が進み、追加発注の期待は薄い状況となっている。



## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年9月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比9.6%増の30.7万人となった。9月に入り企業も通常に戻ってきたため、ホテルの催事が増えており、配車件数が増加している。平日でも深夜0時頃までは、繁華街に人が流れており、普段タクシーを使わない方の利用も増えている。

### 観光

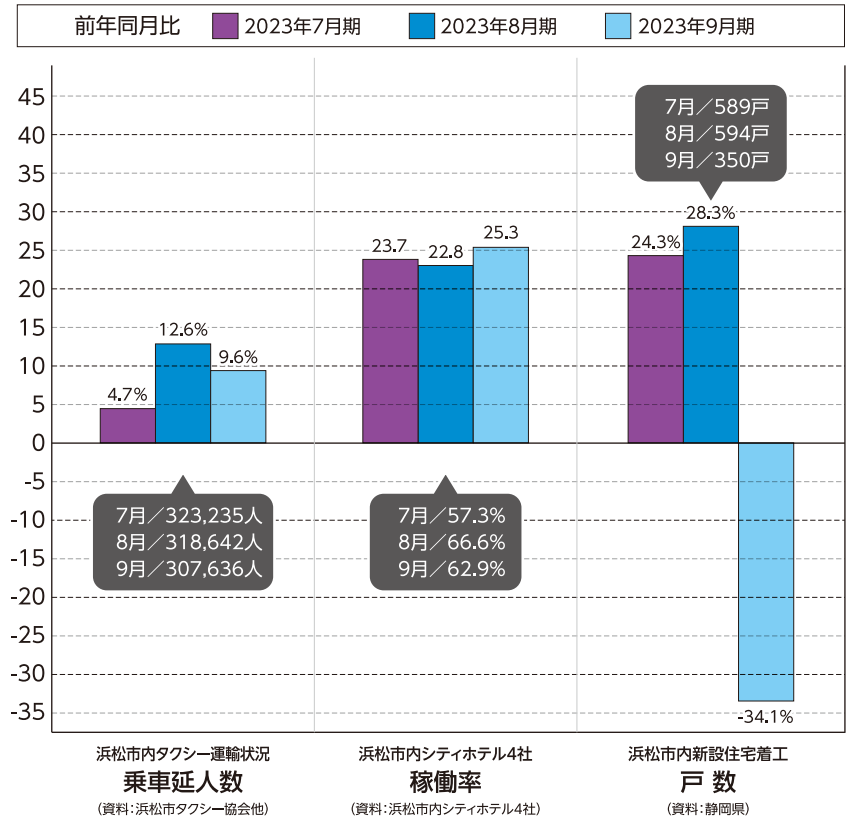


2023年9月の浜松市内ホテルの稼働率は62.9%であった。団体客は全国旅行支援の最終月ということもあり、募集ツアーが盛況だった。個人観光客は伸び悩む傾向だったが、ビジネス客は近隣の工事関係者の宿泊があり増加傾向だった。しかし、人手不足もあり、稼働率が上がるたびに室内清掃の遅れが発生し、週末の個人客を中心にチェックインをお待たせするケースが見られた。

### 住宅着工



2023年9月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比181戸(34.1%)減少の350戸となった。内訳をみると、持家は178戸、貸家107戸、分譲住宅は64戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年9月の有効求人倍率は1.32倍となり、前年同月との比較では0.08ポイント、前月との比較では0.05ポイント上回った。全国(1.29)との比較では0.03ポイント上回り、静岡県(1.19)との比較では0.13ポイント上回った。コロナ禍からの経済活動再開および年末商戦に向けて、サービス業を中心に求人が増えている。

### 倒産企業



2023年9月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は57件、金額は6.3億円だった。前年同月との比較では26件増加し、代位弁済金額は3.1億円増加した。ゼロゼロ融資の返済が始まり、原材料費やエネルギー価格の高騰で資金繰りが悪化し、返済困難に陥る企業が増えている。

注) 今月号より経済指標を企業倒産件数(資料: 帝国データバンク)から保証協会浜松支店代位弁済件数(資料: 静岡県信用保証協会)に変更しました。

### ガソリン価格

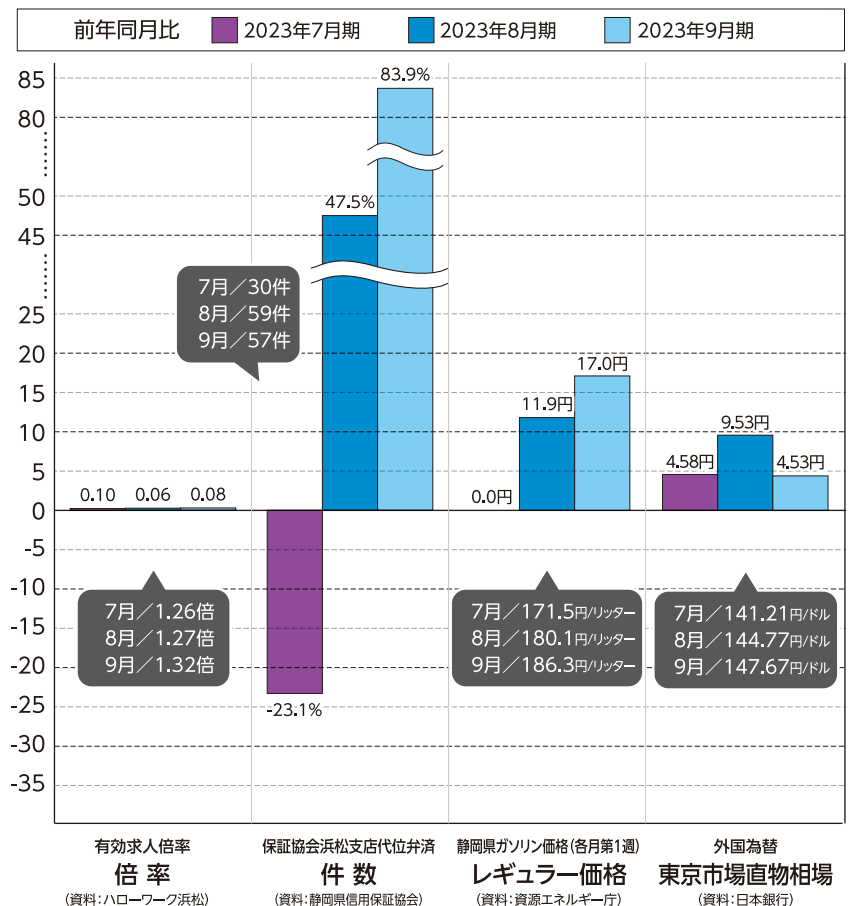


2023年9月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり186.3円となった。2008年8月11日の186.2円以来の高値となり、5週連続で180円超えとなっている。ガソリン価格の高騰は運送業や水産業などさまざまな業種に影響を与えている。

### 外国為替



2023年9月の外国為替は1ドル147.67円となった。前年同月との比較では4.53円、前月との比較では2.90円の円安となった。5カ月連続で前月より円安となり、円安に歯止めが掛かっていない。



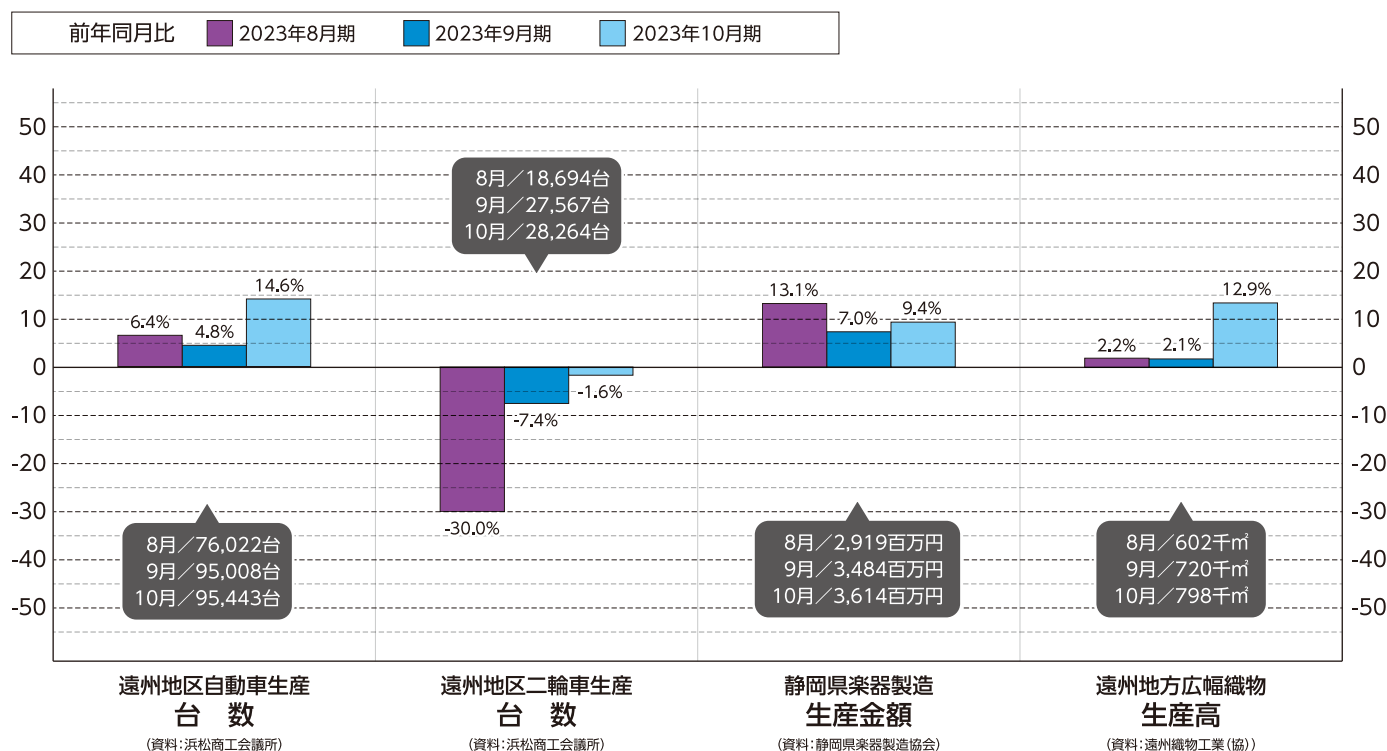
## 浜松地域の経済動向

2023年  
10月を中心に

製造業は自動車関連を中心に回復傾向、  
円相場は6カ月連続で円安となっている。

製造業では、自動車の生産台数が7カ月連続で前年同月を上回り好調ぶりが伺える。二輪車は4カ月連続で前年同月を下回った。楽器は生産金額30億円台を維持し、繊維も前年同月を3カ月連続で上回っている。タクシーの乗車人員は、30万人を下回ったが配車アプリなどの利用者が増え、DX化が進んでいる。ホテルの稼働率は3カ月連続で60%を上回ったが、未だインバウンドは伸び悩んでいる。浜松市の雇用情勢は、静岡県の有効求人倍率を上回り、求人が増えている。ガソリン価格は3カ月ぶりに180円台を下回った。円安は更に進行し、6カ月連続で円安となった。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年10月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比14.6%増の9.5万台となり、8カ月連続の増加となった。半導体や部品の供給不足は解消され計画的な生産ができています。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は15.8%増、小型四輪車は17.1%増、普通自動車は41.1%減となり、軽自動車は4カ月連続で増加し、月間生産台数は今年最高だった前月を更に上回った。国内向けは8.3%増、輸出は41.2%増となり、国内向けは8カ月連続で増加している。

## 二輪車



2023年10月における二輪車生産台数は前年同月比1.6%減の2.8万台となり、4カ月連続で減少となった。国内向けは1.3%増、輸出は1.9%減となっている。排気量別では、50cc以下61.8%減、51cc～125cc以下12.8%減、126cc～250cc以下70.4%増、251cc以上0.2%増となり、好調だった輸出は足元で4カ月連続の減少となっている。

## 楽器



2023年10月における生産金額は前年同月比9.4%増の36.1億円となり、16カ月連続で前年同月を上回り、30億円台を維持している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ7.1%減、電子・電気ピアノ77.9%増、電子オルガン48.9%減、管楽器18.5%増となっている。

## 繊維



2023年10月の生産高は前年同月比12.9%増の798千㎡となり、3カ月連続で前年同月を上回った。今年は記録的な残暑で店頭の夏物衣料の需要も旺盛で、これに伴い、来春夏シーズンに向けての織物生産も、コロナ禍以前の水準には届かないが、今のところは活発化している。しかし、秋物の在庫を抱えるアパレルメーカーの動きが気になるところであり、不透明感がぬぐえない状況となっている。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年10月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比2.3%減の29.8万人となった。10月には大きな催事が2つあり、送迎需要があった。最近では、配車アプリ「DIDI」などを活用する会社も増えてきており、配車アプリの客も伸びてきている。

### 観光

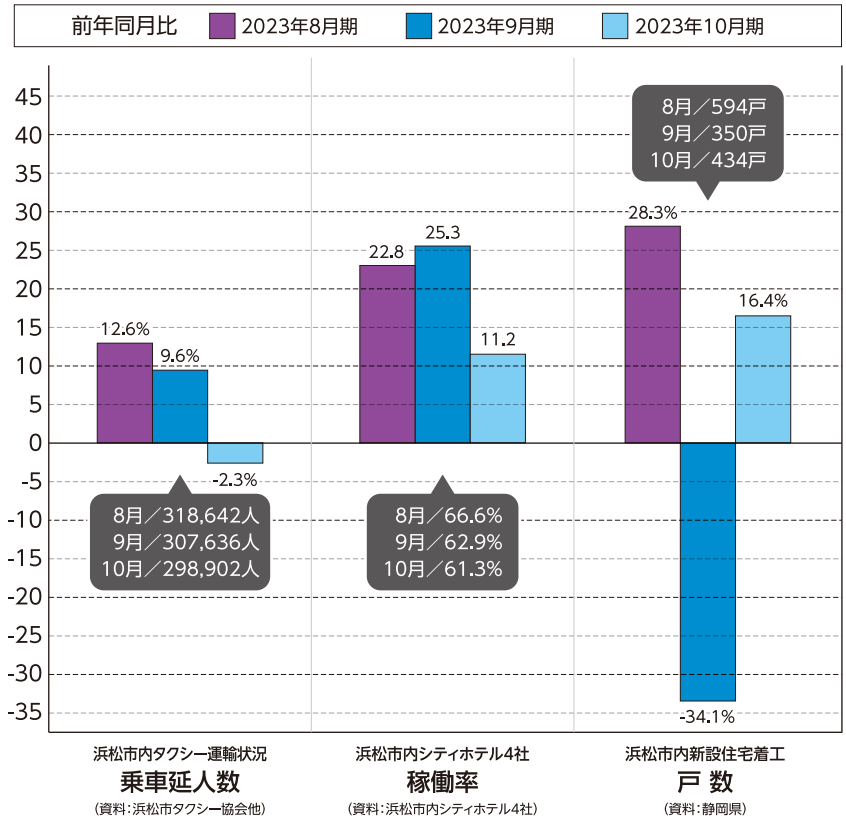


2023年10月の浜松市内ホテルの稼働率は61.3%であった。ビジネス客は工事関係者の連泊があり好調であったが、個人観光客は休日のみ増加傾向であった。団体客はインバウンドが伸び悩んでいる。稼働が上昇するとともに、部屋の清掃が間に合わず、チェックインのお客様を待たせるケースが散見された。

### 住宅着工



2023年10月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比61戸(16.4%)増加の434戸となった。内訳をみると、持家は159戸、貸家118戸、分譲住宅は157戸であった。持ち家は23戸減少したが、分譲住宅が85戸増加と倍増している。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年10月の有効求人倍率は1.30倍となり、前年同月との比較では0.07ポイント上回った。前月との比較では0.02ポイント下回った。全国(1.30)との比較では同倍率となり、静岡県(1.20)との比較では0.10ポイント上回っている。回復傾向にある製造業および年末商戦に向けてのサービス業で求人が増えている。

### 倒産企業



2023年10月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は29件、金額は1.6億円だった。前年同月との比較では件数は3件増加し、金額は3.4億円の減少だった。代位弁済件数は3カ月連続で前年同月を上回り、原材料費やエネルギー価格の高騰は小規模零細企業にとって経費の増加につながり、資金繰り悪化の要因となっている。

### ガソリン価格

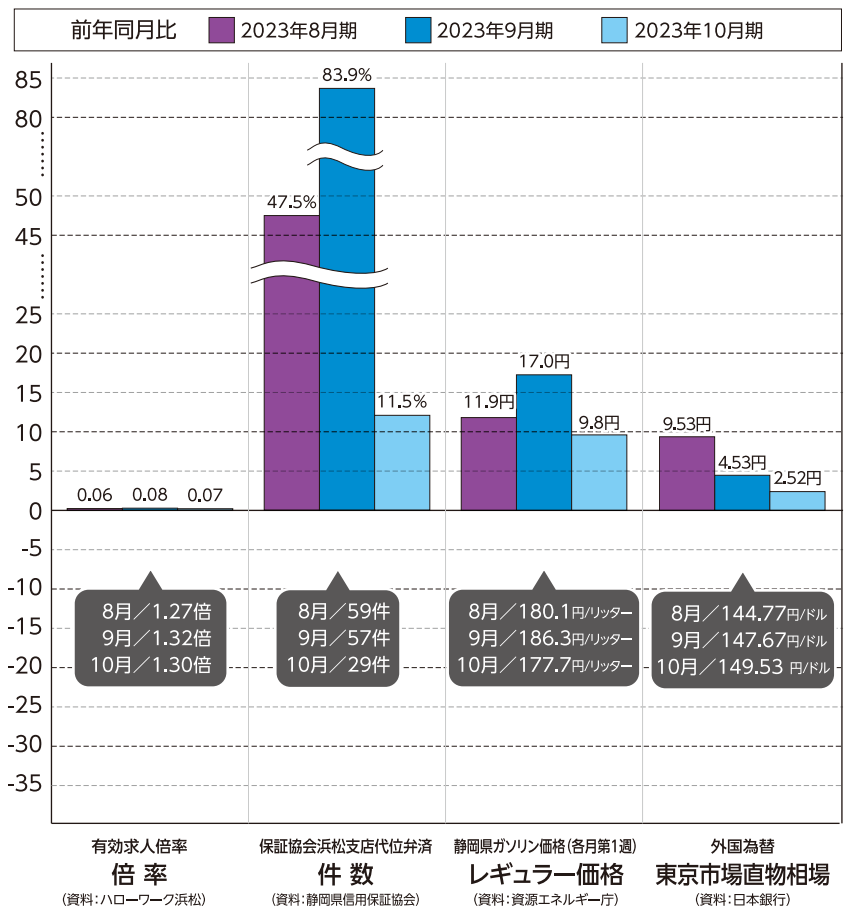


2023年10月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり177.7円となり、先月の186.3円から8.6円減少となった。ガソリン価格の補助金は継続することが決まり、全国平均価格175円程度の水準になるよう補助額および補助率を見直すことになった。

### 外国為替



2023年10月の外国為替は1ドル149.53円となり、前年同月との比較では2.52円、前月との比較では1.86円の円安となった。6カ月連続で前月より円安となり、150円も間近に迫っている。

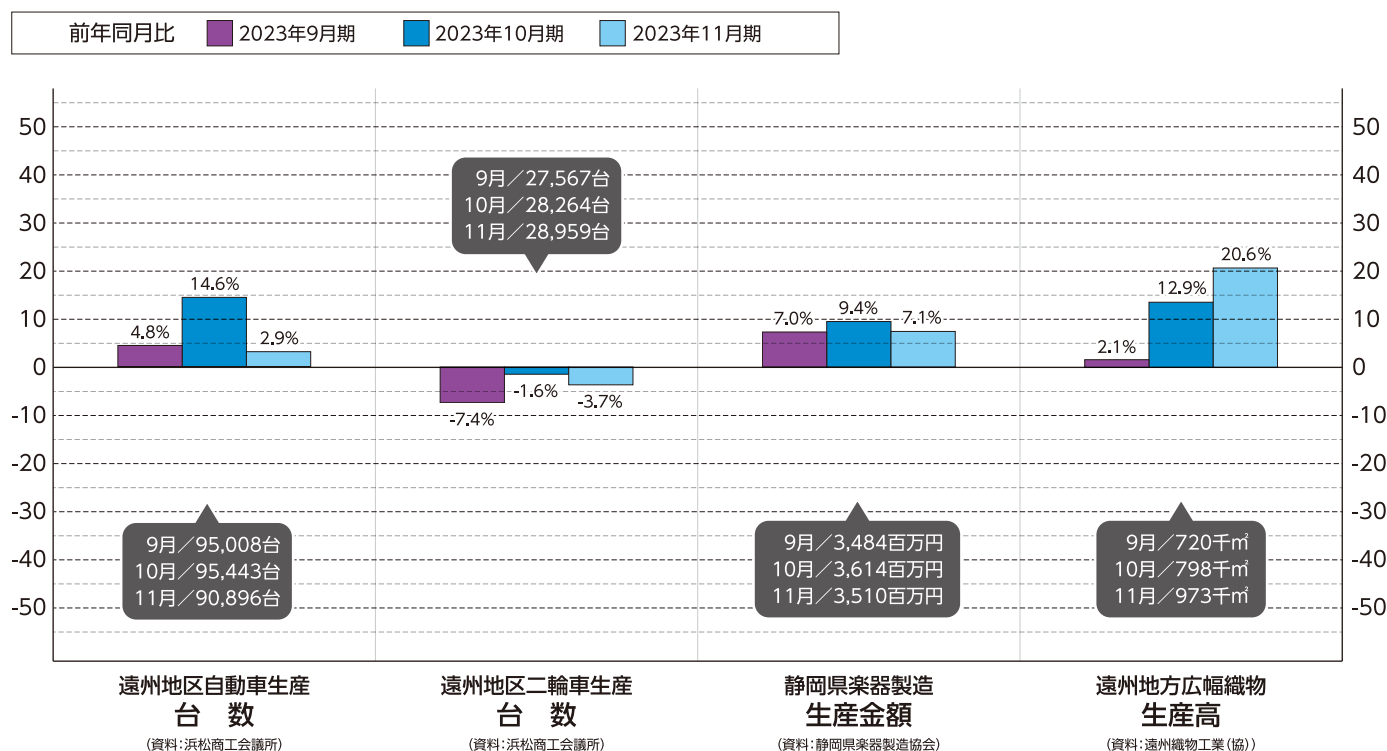


## 浜松地域の経済動向

2023年  
11月を中心に製造業は二輪車を除く業種で回復傾向、  
エネルギー価格は依然として高い水準にある。

製造業では、自動車の生産台数が9カ月連続で前年同月を上回り好調を維持。二輪車は5カ月連続で前年同月を下回った。楽器の生産金額は3カ月連続で30億円台を維持し、繊維も前年同月を4カ月連続で上回っている。タクシーの乗車人員は、ホテルの催事で100名を超える忘年会が行われるようになり、運転収入は増加している。ホテルの稼働率は企業の団体旅行は増えつつあるが、中国をはじめとするインバウンドが未だ不調である。浜松市の雇用情勢は、求人が増えており人手不足が顕在化している。ガソリン価格は依然高い水準で推移している。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年11月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比2.9%増の9.0万台となり、9カ月連続の増加となった。半導体や部品の供給不足が解消され、生産は順調に推移している。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は2.4%増、小型四輪車は3.7%増、普通自動車は7.2%増となり、すべての排気量で増加となった。国内向けは5.8%減、輸出は41.6%増となり、輸出は3カ月連続で増加している。

## 二輪車



2023年11月における二輪車生産台数は前年同月比3.7%減の2.8万台となり、5カ月連続で減少となった。国内向けは14.0%減、輸出は2.8%減となっている。排気量別では、50cc以下56.6%減、51cc～125cc以下45.8%減、126cc～250cc以下4.7%増、251cc以上8.1%増となり、好調だった輸出は5カ月連続の減少となっている。

## 楽器



2023年11月における生産金額は前年同月比7.1%増の35.1億円となり、17カ月連続で前年同月を上回り、前月に引き続き35億円台を維持している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ7.3%減、電子・電気ピアノ220.9%増、電子オルガン36.3%減、管楽器8.0%増となっている。

## 繊維



2023年11月の生産高は前年同月比20.6%増の973千㎡となり、4カ月連続で前年同月を上回った。来春夏衣料品向けの生地生産が最盛期を迎え、各工場ともに稼働率は堅調に推移している。しかし、コロナ禍以前の状況までには至らず、アパレルメーカーは在庫リスクを抑える傾向にあるため、短期間に生産が集中している状況にあることが推測される。



## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年11月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比0.6%減の29.1万人となった。11月はホテルの催事で100名を超える忘年会が多く入り、運転収入は増加した。ホテルから中心街に流れる人や中心街で忘年会を行う人も増え、タクシー利用が増えている。

### 観光

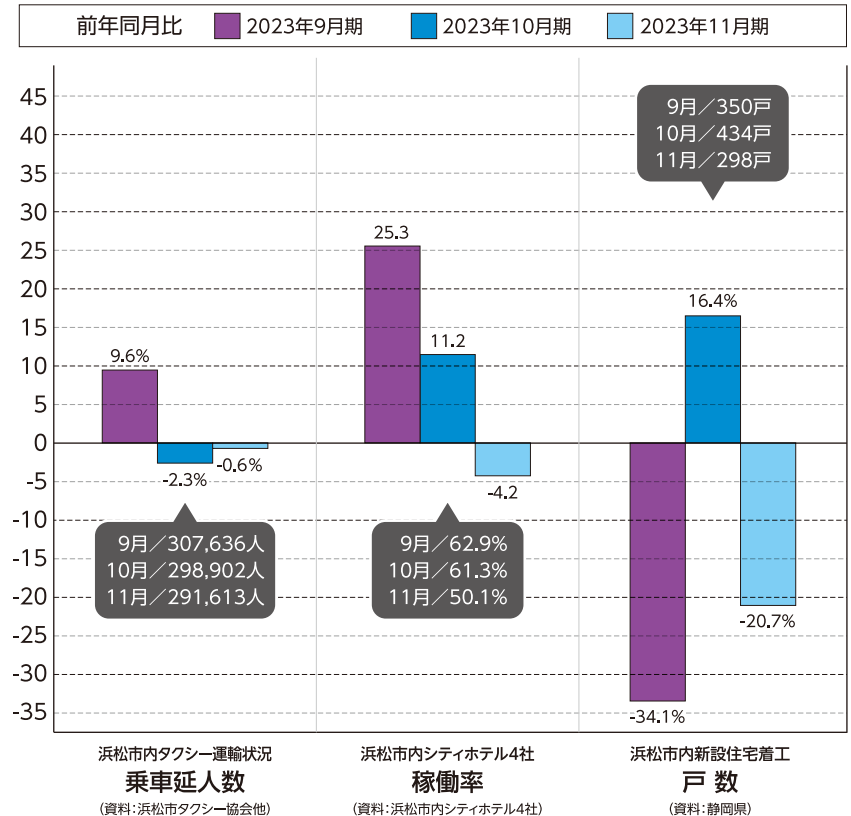


2023年11月の浜松市内ホテルの稼働率は50.1%であった。団体旅行は企業の団体が少しずつではあるが増えつつあるが、インバウンド(中国)がまだ不調である。個人客は大河ドラマが終盤を迎え観光系は伸び悩んでいるが、ビジネス客は上昇傾向であった。

### 住宅着工



2023年11月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比78戸(-20.7%)減少の298戸となった。内訳をみると、持家は162戸、貸家59戸、分譲住宅は76戸であった。持ち家は23戸減少し、貸家も63戸の大きな減少となっている。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年11月の有効求人倍率は1.39倍となり、前年同月との比較では0.13ポイント、前月との比較でも0.09ポイント上回った。全国(1.28)との比較では0.11ポイント、静岡県(1.21)との比較では0.18ポイント上回っている。全般的な業種で人手不足が顕在化している。

### 倒産企業



2023年11月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は70件、金額は5.6億円だった。前年同月との比較では件数は40件、金額は2.9億円増加した。代位弁済件数は4カ月連続で前年同月を上回り、原材料費やエネルギー価格の高騰が影響し、資金繰り悪化の企業が増えている。

### ガソリン価格

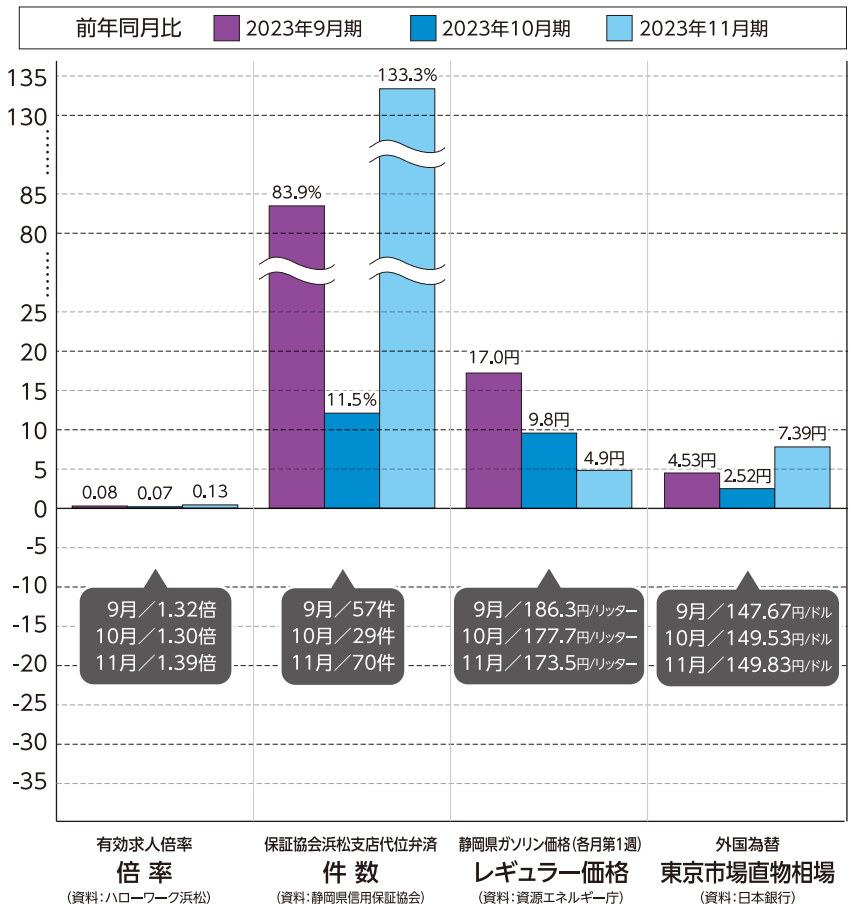


2023年11月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり173.5円となり、先月より4.2円減少となったが、前年との比較では4.9円増加している。ガソリン価格は補助金の継続により175円を下回っているが、今後の価格動向に注意が必要となる。

### 外国為替



2023年11月の外国為替は1ドル149.83円となり、前年同月との比較では7.39円、前月との比較では0.3円の円安となった。7カ月連続で前月より円安となり、円安基調が続いている。



## 浜松地域の経済動向

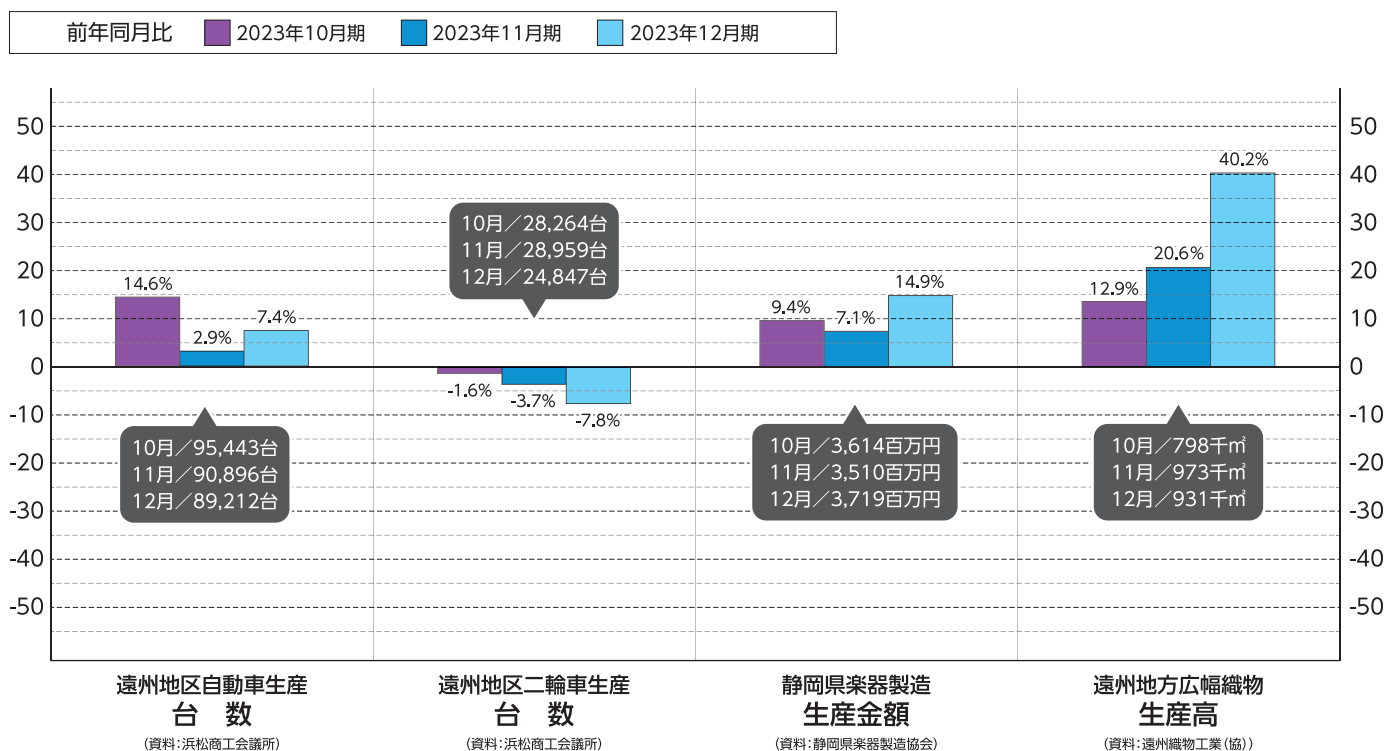
2023年  
12月を中心に

製造業は全般的に回復、

タクシーとホテルの利用は人流の回復を受けて徐々に伸びている。

製造業では自動車の生産台数が10カ月連続で前年同月を上回り、コロナ禍以前の水準まで回復。二輪車は6カ月連続で前年同月を下回った。楽器の生産金額は3カ月連続で35億円超と好調を維持し、繊維は前年同月を5カ月連続で上回った。タクシーの乗車人員は年末の浜松市中心街に人が増え、タクシー利用者も増えた。ホテルの稼働率は忘年会は増加したが、個人客が伸び悩んでいる。浜松市の雇用情勢は高い水準で推移し、ガソリン価格は再び175円台となった。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年12月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比7.4%増の8.9万台となり、10カ月連続の増加となり、コロナ禍以前の水準まで回復した。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は5.4%増、小型四輪車は11.3%増、普通自動車は14.9%増となり、すべての排気量で増加となり好調ぶりが伺える。国内向けは7.7%増となり、2023年は2月と11月を除く全ての月(10カ月)で前年同月を上回った。輸出は4カ月連続で増加し、6.2%増となっている。

## 二輪車



2023年12月における二輪車生産台数は前年同月比7.8%減の2.4万台となり、6カ月連続で減少となった。国内向けは33.5%減、輸出は5.5%減となり、好調だった輸出は6カ月連続で減少となっている。排気量別では、50cc以下25.8%減、51cc～125cc以下48.4%減、126cc～250cc以下6.1%減、251cc以上0.5%増となり、コロナ禍で密を避ける乗り物として増加した需要は沈静化している。

## 楽器



2023年12月における楽器生産金額は前年同月比14.9%増の37.1億円となり、18カ月連続で前年同月を上回り、3カ月連続で35億円超となっている。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ7.6%減、電子・電気ピアノ53.3%増、電子オルガン37.5%減、管楽器24.0%増となっている。

## 繊維



2023年12月の生産高は前年同月比40.2%増の931千㎡となり、5カ月連続で前年同月を上回った。今春夏衣料品向けの生地生産が活発化している。遠州産地の生産は、コロナ禍から回復途上にあるが、コロナ禍以前の状況までの本格回復には至っていない。産地の大部分を占める衣料品向けの生地に関しては、アパレルメーカーなどのモノを作りすぎない発注傾向が顕著である。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年12月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比3.4%減の32.4万人となった。12月もホテルの催事で100名を超える忘年会・同窓会が多く入り、運送収入も増加した。年末には、浜松市中心街に人も増え、タクシー利用も増えた。

### 観光

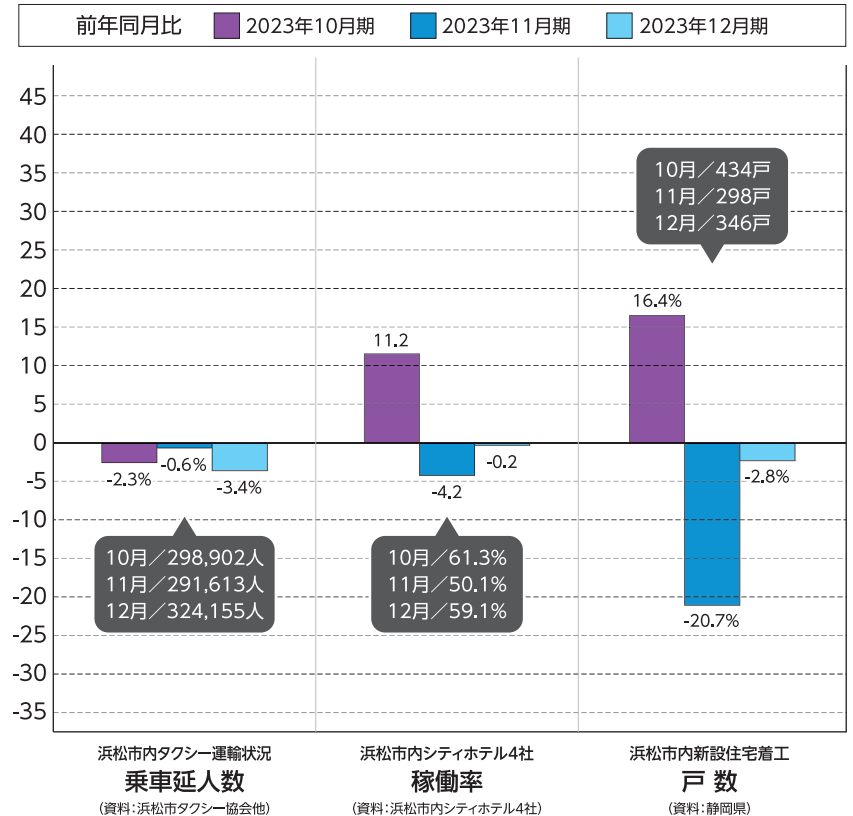


2023年12月の浜松市内ホテルの稼働率は59.1%であった。12月の忘年会は昨年よりは大幅に増加したが、タクシー対応(台数が少なく)がネックとなった。団体客は企業関係が少しずつではあるが増加している。個人客は観光・大河ドラマ館関係に関しては伸び悩む傾向が続いている。

### 住宅着工



2023年12月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比10戸(-2.8%)減少の346戸となった。内訳をみると、持家は139戸、貸家91戸、分譲住宅は115戸であった。持ち家は3戸減少し、貸家も33戸の減少であったが、分譲住宅は26戸の増加であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年12月の有効求人倍率は1.45倍となり、前年同月との比較では0.13ポイント、前月との比較でも0.06ポイント上回った。全国(1.27)との比較では0.18ポイント、静岡県(1.21)との比較では0.24ポイント上回っている。新型コロナウイルス感染症が流行する前の2020年1月(1.43倍)とほぼ同率となっている。

### 倒産企業



2023年12月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は44件、金額は3.3億円だった。前年同月との比較では件数は22件、金額は1.8億円増加した。代位弁済件数は5カ月連続で前年同月を上回り、ゼロゼロ融資の返済と経費の増加により、資金繰り悪化の企業が増加している。

### ガソリン価格



2023年12月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.4円となり、先月より1.9円増加となり、前年との比較でも7.5円増加している。再び175円台となり、企業活動や家庭生活への影響が懸念される。

### 外国為替



2023年12月の外国為替は1ドル144.07円となり、前年同月との比較では9.14円の円安となったが、前月との比較では5.76円の円高となった。円安傾向から4カ月ぶりに円高に転じた。

